



解ヲ得ルト色々ナ品物ガ持ツテ來レル、斯  
ウ云フヤウナ今ノ實情ニナツテ居ル、ケレ  
ドモ斯ウ云フヤウナコトヲ一々訴へテ出  
レバ江戸ノ仇ヲ長崎デ、又何カデヤラレ  
ル、ソレガ爲ニ警察ニ訴ヘルコトモ出來ズ  
ニ、國民ハ皆泣寝入リヲシテ居ル、是ガ現  
在ノ實情デアリマス、國民ハ皆時局ヲ認識  
シテドンナ不自由デモ宜イ、ドンナ苦勞モ  
戰爭ニ勝ツ爲ニハシナケレバナラスト固ク  
信ジテ居ル、馬デハナイケレドモ、草ヲ食  
ツテモ戰爭ニハ勝タナケレバナラス、苦勞ヲ  
シナケレバナラヌト云フ覺悟ヲ國民ハシ  
テ居リマスルガ、其ノ反面ニ、果シテ我々  
ト同ジヤウニ官吏ガ苦勞ヲシテ居ルカドウ  
カト云フコトニハ、國民ハ非常ニ疑惑ノ眼  
ヲ以テ見テ居ル、近來ノ言葉ニ官、面、闇  
ト云フヤウナ言葉ガアツテ、此ノ頃ノ物資  
ノ間ニ合フノハ官、面、闇——一番物資ガ  
間ニ合フノハ官吏、其ノ次ニハ顔ノ利ク者  
所謂顔役、其ノ次ニハ闇取引ト云フヤウナ  
言葉マデアル、斯ウ云フヤウナ次第デ相當  
アルケレドモ、所謂取調ベル人ト調ベラ  
レル人トガ一つ穴ノ狐デハ是ハ到底私ハ  
實行ハ完全ニ出來ナイト思フ、更ニ分ツテ  
居ツテ取調ベラシナイ實例ヲ一つ申上ゲマ  
セウ、昭和十七年、アノ總選舉ノ時ニ私非  
推薦デ立候補致シマシタ、非推薦ノ立候補  
ト云フノハ相當彈壓ヲ食ツタコトハ御承知  
デアリマセウ、百有餘名私ノ後援者ハ警察  
ニ喚バレタ、其ノ中デ拷問ニ付セラレタ者  
ガ約二十名程アリマス、其ノ二十名程ノ拷  
問ニ付セラレタ者ノ中デ、五人ノ者ハ其ノ  
拷問ノ責苦ニ堪ヘ兼ネテ山田竹治カラ金ヲ  
貰ヒマシタト心ニモナイ自白ヲ致シマシタ、  
心ニモナイ自白ヲシテ其ノ晩一晩休マシテ

貴ツテ、翌日檢事ガ書記ヲ連レテ聽取書ヲ作リニ參リマシタ、此ノ檢事ノ名前ハ柳川檢事ト云フヤウニ聞イテ居リマスガ或ハ違フカモ知レマセヌ、此ノ柳川檢事ガ聽取書ヲ作リニ掛ツタ所ガ、ドウモ言フコトガ符合シナイ、洵ニ此ノ檢事ハ名檢事ダト私ハ今デモ思ツテ居リマスガ、ドウモオ前等ノ言フコトハ符合シナイガ、實際オ前等ハ金ヲ貴ツタカ、本當ニ貴ツタカドウカ、斯ウ念ヲ押スト、全クハ貴ヒマセヌ、貴ハナインニナゼオ前等ハ昨晩斯ウ云フ風ニ金ヲ貴ツタト言ツタノダ、ソレヲ言ハナケレバ私ノ體ハモウ堪ヘナイト思ヒマシタ、ダカラ貴ツタト心ニモナイコトヲ申上ゲテ洵ニ申譯ナイ、何ダオ前等ハソレデモ日本人カ、金ヲ貴ハナイノニ貴ツタト言ヘバ誰ガ迷惑サウダラウ、山田ガ迷惑ヲスルコトハ明カデハナイカ、オ前等ハ天野屋利兵衛ヲ知ツテ居ルカ、天野屋利兵衛ハ自分ガ行ツタコトデスマ、人ニ迷惑ガ掛ルト云フノデ女房子供ガ責苦ニ遭ツテモ言ハスデハナイカ、ソレヲ何ダ、日本人ガソンナ意思ノ弱イコトデドウスルカト、大變御叱リヲ蒙リマシテ、ソレデハオ前等ハ昨夜拷問ニ付セラレタノカ、イエソレ程デモアリマセヌ、ソレ程デモナイナラナンデソンナコトヲ言ツタノカ、ト云フノデ、一旦其ノ調べハ中止ニナツテ、暫クスルト又呼び出し、又檢事サング調べタ、其ノ時ニハ警察ノ署長近藤源藏ヲ初メトシテ、警部補、刑事、斯ウ云ノ者ヲチヤント並ベて置イテ、オ前等ハ昨夜拷問ニ付セラレタノカ、イエ付セラレマセヌ、拷問ニ付セラレナイカ、ハイ付セラレマセヌ、間違ヒナイナ、宜シイ、斯ウ云フ調

書が出来タ、署長ヲ前ニ置キ、警部補ヲ前ニ置イテ検事ガ調べテ、ソレデモ拷問ニ付セラレマシタ言ツタラ後ノ祟リガ恐シイカラ、ヨウ言ハナイ、ドウデセウ、名検事ト私ハ今デモ信ジテ居ル、此ノ人ガコ、デモウ一步ドウシテ進ンデ調べヌカ、此ノ帝都ノ眞中ニ拷問ニ付セラレテ、家へ歸ツテ來テ、二十日モ三十日モ温泉ニ療養シナケレバ満足ノ體ニナレスヤウナ目ニ遭ツテ居リマス、中ニハ島田八郎ナント云フ男ハ憤慨シテ家へ歸ツテ刃刀デ腹ヲ切ツタ、恐ラク此ノ腹ヲ切ツタノハ警察デ拷問ヲシタカラダトハ調書ナドニハナツテ居ラヌグラウト思フ、何故ニ是マデニナリ、何故ニ金ヲ貰ハヌノニ昨夜貰ツタトノ自白ヲシタノデ當ニ調べテ行ケバ少クトモ警察ニ相當ノ疵セウカ、警察ガ拷問ヲシタカ、或ハ山田ヲト云フモノハ出來ナイ、斯ウ云フ所陥レントシタカ、此ノ二ツノ目的以外ニハナイ、之ヲ調べナイト云フコトハ、之ヲ本マデ分ツテ居ツテ居モ、結局官吏同志ノ檢舉ト云フモノハ出來ナイ、先般モ私共ノ所轄太平警察署ハ、警察主任以下殆ド全部ガ收賄罪デ調ヲ受ケテ居ルガ、是カラ見テモ他ノ事ト關聯ヲスルカラ已ムナク調べテ居ノデアツテ、恐ラク警察自體ガ自ラ進ンデ調ベルト云フコトハ殆ンド行ハナイト思ヒマス、ソコデ私案致シマシテハ今ノ機構モノヲ聞イタコトハナイ、官吏ニ限ツテ非常ナ惡評ヲ聞クケレドモ、是ハドウシテモヲ維持シテ居ルノデ殆ンド非難攻撃ト云フデハドウシテモ駄目ダ、官紀ヲ肅正スルノニ、陸軍ニ於テハ憲兵ガアツテ、軍紀風紀ニ、陸軍ニ於テハ憲兵ガアツテ、軍紀風紀ヲ維持シテ居ルノデ殆ンド非難攻撃ト云フデハドウシテモ駄目ダ、官吏ニ限ツテ非

○大森政府委員　只今現在ノ検舉ノ實績ニ付キマシテ、御懇篤ナル御注意ヲ忝クシタノデアリマス、御承知ノヤウニ經濟事犯其ノ他ノ犯罪ノ檢舉ニ付テ、今日ノ檢舉ガ果シテ完璧デアルカドウカト云フコトニ付テハ私共固ヨリ疑ヒヲ持ツノデアリマス、更ニ十分ノ努力ヲ傾注シナケレバナラナイト存ジテ居リマス、只今主トシテ御舉ゲニナリマシタ警察官吏ノ事犯ニ付テノ具體的ノ事例ニ付キマシテハ、私ハ今日茲デ御答辯ヲ申上ゲル資料ヲ持ツテ居リマセヌカラヽ何トモ申上ゲ兼ネルノデアリマス、併シ今日ノ實際ニ鑑ミマシテ、官吏ノ非違ニ對シ付テ申上ゲル資料ヲ持ツテ居リマセヌカラヽハ、是ハ私共忝ク拜承致シタノデアリマス、ソレニ付テドウスレバ宜イカト云フコトニ付テ只今御示シニナリマシタノハ、官吏ノ非違ニ對シテ獨立ノ警察官ヲ設置スペント云フ御意見ノヤウニ承リマシタ、是レ全ク御尤モニ存ジマスルケレドモ、此ノ制度ノ確立タルヤ他トノ權衡モアリマシテ、相當熟慮ヲ要スルデアラウト思フノデアリマス、御方針トシテハ確カニ御尤モノ點ダトハ存ジマスルケレドモ、今日直チニソレニ從ツテ我々ガ立案ニ進ムト云フコトヲ茲デ御明答ヲ致スダケノ確信ヲ持ツテ居ナイノデア

リマス、御注意ハ御尤モトシテ確カニ承ツ  
テ置キマス、尙ホ之ニ臺聯致シマシテ今日  
檢察當局ノ手不足ト云フコトモ確カニアリ  
マス、併シ斯様ナ時節デアリマスカラ我々  
手不足ニ對シテ毫モ不平不満ヲ言ハナイノ  
デアリマス、ソレコソ三人前モ四人前モ働  
クト云フ一生懸命ノ御奉公ヲシテ、此ノ難  
局ヲ切抜ケテ行キタイト思ツテ居リマス、  
右ノ諸點御了承ヲ願ヒタインデアリマス

○山田(竹)委員 宜シウゴザイマス  
○谷原委員長 濱野君  
○濱野(徵)委員 私ハ一二三ノ項目ニ付キマ  
シテ御伺ヒヲ致シタイト思ヒマス、此ノ苛  
烈ナル決戦態勢下ニ於キマシテ、銃後ノ治  
安確保ト云フ重大ナル責任ヲ果シマスル爲  
ニ、司法省ニ於キマシテモ相當ナ御苦心ヲ  
拂ツテ居ラレルコトモ能ク諒ト致スノデア  
リマス、今マデノ大東亜戰爭開始以來ノ議  
會ノ經過ニ顧ミマシテ、司法部自體ノ機構  
申シマスルカ、サウ云フ方面ニ付キマシ  
テハ相當切替ガ行ハレタヤウニ存ジテ居リ  
マス、例ヘバ原則的ノ三審制度ヲモ、戰時  
中トハ言ヒナガラ二審制トナシ、或ハ略式  
命令ガ體刑ニマデ及ブト云フコトニ依ツテ  
今ノコトハ略々察セラレルノデアリマス、併  
シテ最後ノ點デアラウト思ヒマスルガ、然  
ラバ此ノ大戰中ノ司法部ニ於ケル其ノ點ハ  
ドウ云フ風ニナツテ居ルカ、一昨日モ當局  
ヨリ從來改正サレタル劃期的ノ法律ノ運用  
ヲ全ウスル爲ニ、練達職能ノ判檢事ヲ區裁  
判所ニモ大分配置ヲ濟マシタト云フヤウナ  
御言葉デアリマス、併シ果シテソレダケデ  
マス、併シ斯様ナ時節デアリマスカラ我々

宜イデアラウカト云フヤウナ氣持ガ致スノ  
デアリマス、ソレハ司法官ハ他ノ行政方面  
ノ官吏ト違ヒマンテ、採用ニ當ツテモ嚴重  
ナル資格ヲ必要トシマスガ、更ニ任用セラ  
レマシテカラハ身分ノ保障ガアリ、地位ノ  
保障ガアリマシテ、此ノ點他ノ行政方面ノ  
官吏ト趣キヲ異ニシテ居リマス、凡ソ人ハ  
身分ノ保障ガアリ、地位ノ保障ガアリ、司  
法大臣ト雖モ判事ノ地位ヲバ溢リニ獨斷デ  
更迭スルコトガ出來ナイト云フヤウナ地位  
ニ居リマスレバ、何ト申シマシテモ人情自  
ラ安全感ヲ自然ニ感ゼラレルト思フノデア  
リマス、是ガ人情デアリマス、私ハ其ノ點  
ニ付テ司法當局ガ常ニ御考ヘニナツテ居ル  
トハ思フノデアリマスガ、兎角上司ノ意思  
ガ末端ニマデ滲透セラレナイ勝ノコトガア  
リマシテ、此ノ點カラ先づ今ノ司法當局ノ  
意思ガ透徹シテ實際裁判檢察ノ局ニ當ツテ  
居ル人達ガ、本當ニ此ノ苛烈ナル時局ヲ認  
識シ法ノ運用ニ付テ萬全缺クルナキヤニ付  
キ十分ノ用意ヲシテ居ルノカト云フコトニ  
付テ考ヘサセラレル點ガアルノデアリマス、  
先づ是等ノ諸君ノ中ニハ今山田君ノ申サレ  
タヤウナ實例モアリ、我々ガ在野法曹ノ諸  
君カラ度々聞カサレル點ニモ同様ナコト方  
度々アリマス、例ヘバ此ノ間モ同僚ノ方カ  
ト云フコトガ唯單ニ重イ罰金、嚴重な體刑  
デ濟マセルト思フナラバ、是ハ私ハドウデ  
ベルノニ、極メテ短時間ノ内ニ十何人ノ個  
個ノ竊盜犯人ヲ調べル、如何ニ快速調トハ  
ラソツタノデアリマスガ、竊盜ノ犯罪ヲ調  
べルノニ、極メテ短時間ノ内ニ十何人ノ個  
個ノ竊盜犯人ヲ調べル、如何ニ快速調トハ  
云ヒナガラ餘リニ甚ダシイ、盜ンダト云フ  
事實ダケヲ調べルダケデアツテ、由ツテ來  
ル事情ナドニ付テハ何等調べル様子ハナカ  
ツタ、斯ウ云フヤウナコトモ聞キマス、ソレ  
カラ又例ヘバ檢舉ニ當リマシテモ、闇ノ實  
例デアルガ、或ル重要ナラザル食品ノ闇取

引キヲヤツタ、其ノ時ノ罰金ノ請求並ニ判  
決ノ結果ヲ聞キマシタガ、一貫目ノ取引ヲ  
シタ者ニ付テハ罰金ガ百圓ト云フ見當デ、  
百貫目ノモノハ其ノ百倍ダト云フヤウナ  
本當ニ心太押シノヤウナ求刑デアリ、判決ノ  
リト伺ツタノデアリマス、此ノ邊ノ所ハ一體  
實際ノ言渡シデアツタ云フコトヲハツキ  
レマシテカラハ身分ノ保障ガアリ、地位ノ  
保障ガアリマシテ、此ノ點他ノ行政方面ノ  
官吏ト趣キヲ異ニシテ居リマス、凡ソ人ハ  
身分ノ保障ガアリ、地位ノ保障ガアリ、司  
法大臣ト雖モ判事ノ地位ヲバ溢リニ獨斷デ  
更迭スルコトガ出來ナイト云フヤウナ地位  
ニ居リマスレバ、何ト申シマシテモ人情自  
ラ安全感ヲ自然ニ感ゼラレルト思フノデア  
リマス、是ガ人情デアリマス、私ハ其ノ點  
ニ付テ司法當局ガ常ニ御考ヘニナツテ居ル  
トハ思フノデアリマスガ、兎角上司ノ意思  
ガ末端ニマデ滲透セラレナイ勝ノコトガア  
リマシテ、此ノ點カラ先づ今ノ司法當局ノ  
意思ガ透徹シテ實際裁判檢察ノ局ニ當ツテ  
居ル人達ガ、本當ニ此ノ苛烈ナル時局ヲ認  
識シ法ノ運用ニ付テ萬全缺クルナキヤニ付  
キ十分ノ用意ヲシテ居ルノカト云フコトニ  
付テ考ヘサセラレル點ガアルノデアリマス、  
先づ是等ノ諸君ノ中ニハ今山田君ノ申サレ  
タヤウナ實例モアリ、我々ガ在野法曹ノ諸  
君カラ度々聞カサレル點ニモ同様ナコト方  
度々アリマス、例ヘバ此ノ間モ同僚ノ方カ  
ト云フコトガ唯單ニ重イ罰金、嚴重な體刑  
デ濟マセルト思フナラバ、是ハ私ハドウデ  
ベルノニ、極メテ短時間ノ内ニ十何人ノ個  
個ノ竊盜犯人ヲ調べル、如何ニ快速調トハ  
ラソツタノデアリマスガ、竊盜ノ犯罪ヲ調  
べルノニ、極メテ短時間ノ内ニ十何人ノ個  
個ノ竊盜犯人ヲ調べル、如何ニ快速調トハ  
云ヒナガラ餘リニ甚ダシイ、盜ンダト云フ  
事實ダケヲ調べルダケデアツテ、由ツテ來  
ル事情ナドニ付テハ何等調べル様子ハナカ  
ツタ、斯ウ云フヤウナコトモ聞キマス、ソレ  
カラ又例ヘバ檢舉ニ當リマシテモ、闇ノ實  
例デアルガ、或ル重要ナラザル食品ノ闇取

化外ノ民トシテ墮シテシマフ、「ローマ」市  
民トシテノ誇リヲ自ラ捨テタヤウナ人間ハ  
蕃地ニ落シテシマフノダト云フヤウナ氣持  
デヤツテ居ルト思フ、日本ノ刑法ハサウデ  
ハナイ、日本ノ裁判ハ畏クモ 天皇ノ御名ニ  
於テ裁判ガ言渡サレル神聖ナモノデアリマ  
ス、是ダケノ懲役期間ガ濟シダナラバオ前  
引キヲヤツタ、其ノ時ノ罰金ノ請求並ニ判  
決ノ結果ヲ聞キマシタガ、一貫目ノ取引ヲ  
シタ者ニ付テハ罰金ガ百圓ト云フ見當デ、  
百貫目ノモノハ其ノ百倍ダト云フヤウナ  
本當ニ心太押シノヤウナ求刑デアリ、判決ノ  
リト伺ツタノデアリマス、此ノ邊ノ所ハ一體  
實際ノ言渡シデアツタ云フコトヲハツキ  
レマシテカラハ身分ノ保障ガアリ、地位ノ  
保障ガアリマシテ、此ノ點他ノ行政方面ノ  
官吏ト趣キヲ異ニシテ居リマス、凡ソ人ハ  
身分ノ保障ガアリ、地位ノ保障ガアリ、司  
法大臣ト雖モ判事ノ地位ヲバ溢リニ獨斷デ  
更迭スルコトガ出來ナイト云フヤウナ地位  
ニ居リマスレバ、何ト申シマシテモ人情自  
ラ安全感ヲ自然ニ感ゼラレルト思フノデア  
リマス、是ガ人情デアリマス、私ハ其ノ點  
ニ付テ司法當局ガ常ニ御考ヘニナツテ居ル  
トハ思フノデアリマスガ、兎角上司ノ意思  
ガ末端ニマデ滲透セラレナイ勝ノコトガア  
リマシテ、此ノ點カラ先づ今ノ司法當局ノ  
意思ガ透徹シテ實際裁判檢察ノ局ニ當ツテ  
居ル人達ガ、本當ニ此ノ苛烈ナル時局ヲ認  
識シ法ノ運用ニ付テ萬全缺クルナキヤニ付  
キ十分ノ用意ヲシテ居ルノカト云フコトニ  
付テ考ヘサセラレル點ガアルノデアリマス、  
先づ是等ノ諸君ノ中ニハ今山田君ノ申サレ  
タヤウナ實例モアリ、我々ガ在野法曹ノ諸  
君カラ度々聞カサレル點ニモ同様ナコト方  
度々アリマス、例ヘバ此ノ間モ同僚ノ方カ  
ト云フコトガ唯單ニ重イ罰金、嚴重な體刑  
デ濟マセルト思フナラバ、是ハ私ハドウデ  
ベルノニ、極メテ短時間ノ内ニ十何人ノ個  
個ノ竊盜犯人ヲ調べル、如何ニ快速調トハ  
ラソツタノデアリマスガ、竊盜ノ犯罪ヲ調  
べルノニ、極メテ短時間ノ内ニ十何人ノ個  
個ノ竊盜犯人ヲ調べル、如何ニ快速調トハ  
云ヒナガラ餘リニ甚ダシイ、盜ンダト云フ  
事實ダケヲ調べルダケデアツテ、由ツテ來  
ル事情ナドニ付テハ何等調べル様子ハナカ  
ツタ、斯ウ云フヤウナコトモ聞キマス、ソレ  
カラ又例ヘバ檢舉ニ當リマシテモ、闇ノ實  
例デアルガ、或ル重要ナラザル食品ノ闇取

云フコトガ嚴重ニ行ハレテ居ルノダ、斯ウ云フ  
呑舟ノ魚ハドウナツテ居ルガ、果シテ  
ヤウナ噂ガ隨分聞エルノデアリマス、検事  
ノ檢舉ニ當ツテ事犯ノ輕重乃至原因等ヲ能  
ク慮ツテ居ルカ、本末ヲ顛倒シテ居ラナイ  
カ、例ヘバ大キナ波ノウネリガアツテ、ソ  
レガ爲ニ小サナ船ガ思ハズ山ニ上ツタト云  
フヤウナ時ニ、其ノ波ノ勢ヒニ押サレテ山  
ヘ上ツタ船ヲ罰スルニ急デアツテ、其ノ人  
造ノ波ガ何處カラ來タカト云フ原因ヲ探  
究スルコトヲ怠ツテ居ルノデハナイカト云フ  
聲ガアリマス、是ハ事實ヲ探究シテ見ルト、  
此ノ不平ハ尤モダト思ハレルヤウナ場合ガ  
實在スルノデアリマス、斯クシテ巷間ニ於  
テ明察達識ガ聊カ足リナインデハナイカト  
思フトノ噂モ聞クノデアリ、折角治安維持  
ノ爲ニ努力セラル、當局ノ爲メ懸念ニ思フ  
ノデアリマス、勿論憲法ニ依リテ其ノ地位  
ヲ保障サレテ居リマス判檢事諸君デアリマ  
スカラ、司法ノ上司ノ諸君ト雖モ是ハ積極  
的働き掛ケガ出來ナイコトハ十分ニ御察シ  
ハシマス、併シナガラソコニ考へテ見レバ  
幾多ノ工夫ガアルト思フノデアリマス、昔  
ハ能ク明治ノ大岡裁判ト云フヤウニ名裁  
判ガアツタモノデアルガ、近頃ハ一向左様  
ナ事ハ聞カナイ、サウ云フコトハ何處カラ  
來タカト云フト、能ク我々ノ耳ニモ當ルノ  
デアリマスガ、例ヘバ漸ク練達堪能ノ時ニ  
入ツタ人ガ今度ハ田舎ノ所長サンニ榮轉ス  
ル、田舎ノ所長サンニ行ツテシマフト餘り  
法廷ニ出ナイ、實際ノ裁判ヲ掌ルコトハ少  
ナクテ一種ノ司法行政官ト云フ立場ニナツ  
テシマウ、サウ云フ者ニ憲法上ノ判檢事ノ  
身分ノ保障ヲ與ヘル必要ガアルカト云フコ  
トヲ思ヒ當ルノデアリマス、此ノ點ニ付キ

テ當局ニ何等力御者ガアリマセウカ、其ノ外能ク首相ガ申サレル野ニ遺賣ナカラシム  
ルト云フコトハ之ヲ司法部ニ適用スルト、在野法曹ヲ思切ツテ上層部ノ判檢事ノ地位ニ  
任用スルコトモ必要デハナイカ、從來能ク  
在野法曹ノ民間人ヲ判檢事ニ任用サレルトヲ  
聞クノデアリマスガ、ソレハ餘リ上級ノ方  
デハナイ、上層ノ方ニハ行ツテ居ナイ、辯  
護士ノ中ニ練達堪能ノ人ガ志望スルナラバ  
司法部カラ勧キ掛ケテモ、一脈ノ活ヲ與ヘ  
ルト云フ意味カラデモ進ンデ之ヲ上層ノ地  
位ニ任用スル、ソレダケノ勇氣ト勇斷トヲ  
持ツテ欲シイト思フノデアリマス、此ノ點  
御伺ヒ致シタイコトハドウ云フ風ナ御工夫  
ヲ以テ此ノ地位ノ安全感ヲ持ツテ居ラレル  
判檢事ニ對シテ、モウ一層時局ノ認識ヲ昂  
ヌル上ニ於テ御考ヘアリヤ、併セテ民間ノ  
上層方面ノ任用ト云ツタヤウナコトニ付テ  
御考ヘガアレバ伺ヒタイト思ヒマス  
○大森政府委員　只今ノ御言葉ニ於キマシ  
テ司法制度ト申シマスルカ、司法ノ機構ト  
申シマスカ、此ノ戰時的措置ハ一段ト片ガ  
付イタト思フガドウカト云フ點ガ第一點ノ  
問題ノヤウニ承ツタノデアリマス、全ク御  
說ノ通リデアリマシテ、先般來數回戰時法  
ノ御審議フ煩ハシマシテソレハ公布ニ相  
成リ實施ヲサレテ居リマス、先づ私共ト致  
シマシテハ司法制度司法機構トシテ戰時ニ  
對スル體制ハ是デ備ツタヤウニ存ズルノデ  
アリマス、勿論斯様ナ時局ニアリマスルカ  
テ、其ノ進展ハ豫想ハ出來マセヌ、是ヨリ  
後更ニ急激ナル事情ノ變化ガアリマスルナ  
ラバ、ソレニ對應スル施策ヲ又考ヘナケレ  
バナリマセヌケレドモ、今日ノ程度ハ先づ  
此ノ程度デ進ンデ行ツテ宜イト考ヘテ居ル

ノデアリマス  
次ニ御尋ネニナリマシタ人ノ問題ニ付テ  
デアリマスルガ、色々私共ノ参考ニナル魯  
重スペキ御意見ガアツタヤウニ承ツタノデ  
アリマス、御承知ノヤウニ司法官ニハ地位  
ノ保障ガ與ヘラレテ居リマスルガ、是ハ司  
法權ノ作用ト密接不可分ノモノデアリマシ  
テ、極メテ重要ナモノデアリマスルコトハ  
御熟知ノ通リデアリマス、然ルニ此ノ地位  
ノ保障、固ヨリ司法權トシテ必要デモアリマシ  
又重要デモアリマスガ其ノ反面ノ作用ト致  
シマシテ地位ノ保障ノアルガ爲ニ、トモス  
レバ安逸ニ傾クノ虞レガアルト云フ御心配  
ハ確カニ私共トシテモ憂ヒナケレバナラナ  
イコトト思ツテ居ルノデアリマス、然ルニ  
斯様ナ決戦體制下デアリマスカラ、苟クモ  
地位ノ安逸ヲ貪ルガ如キコトノアツテハナ  
ラナイコトハ是ハ申上ゲルマデモナインデ  
アリマシテ、私共及バズナガラ司法官全部  
ニ對シテ時局ノ認識ト云フコトニ付テハ共  
ニ互ニ相勵マシテ居ルノデアリマス、私共  
ノ微力及バザルコトハ慚愧デハアリマスケ  
レドモ、併シ事變前、殊ニ戰爭前ニ比シマ  
シテ、司法官ノ氣分ニ大變ナ相違ガアルト  
云フコトハ私共ハ十分ニ感ジテ居ルノデアリ  
マス、聊カ意ヲ強フシテ居ル次第デアリ  
マス、併シ只今申シマス通り我々ノ微力ヲ尙  
ホ此ノ方面ニ十分ニ傾注シナケレバナラナ  
イノデアリマス、御趣旨ニ從ツテ十分ニ努  
力ヲ捧ゲタイト存ジテ居リマス  
次ニ一二ノ事例トシテ裁判檢察ニ粗漏ナ  
ルモノガアリハシナイカ、又徒ラニ形式ニ  
流ル、モノガアリハシナイカ、斯ウ云フ御  
注意デアリマシタ、私ハ具體的事例ニ付テ  
一々存ジテ居リマセヌケレドモ、若シ御指

摘ノヤウナ事例ガアリマスルナラバ、是ハ  
洵ニ歎カハシイコトデアリマシテ、裁判、檢  
察デアリマスルカラ、具體的ノ事案ニ即シ  
テ寛嚴宜シキヲ得ナケレバナラナイコトハ  
申スマデモナイノデアリマス、尙又嚴罰ト云  
フ點ニ付テ御説ガアリマシタ、是レ亦御尤  
モニ拜承ヲ致シタノデアリマス、成程時々私  
共モ嚴罰ト云フコトヲ申シテ居リマスルケレ  
ドモ、其ノ趣旨タルヤ惡質ニ重キヲ置クノデ  
アリマシテ、惡質ノモノハ嚴重ニ之ヲ取締ル、  
即チ一罰百戒ト申シマスルカ、惡質ノモノヲ  
極メテ嚴重ニ取扱フト云フ意味デアリマシ  
テ、悉ク一切ヲ擧ゲテ必ズ重クスルト云フ  
趣旨デハナイノデアリマス、只今モ申述べマ  
シタル通り、事業々々ニ依リマシテ其ノ内容  
ガ千差萬別デアリマスカラ、或ハ嚴、或ハ寛  
事案ニ即シテ適當ノ處置ヲ執ラナケレバ  
ナラナイコトハ言フマデモナイノデアリマ  
シテ、此ノ點ハ十分ニ徹底致シマスルヤウニ  
私共努力ヲ致シテ居ル次第デアリマス、次ニ  
在野法曹ノ採用ノ問題デアリマス、是レ亦私  
共極メテ御同感デアリマス、今日ノヤウナ  
時勢ニナリマシテ、國家試験ハ一年度ハ停  
止ト云フコトヲ承ツテ居リマス、隨テ一年以  
後ニ於テ停止ト云フコトハナイト考へテ居  
リマスルケレドモ、併シ應召ノ關係モアリ  
マスルシ、手不足ヲ生ズルト云フコトハ固  
ヨリ今日カラ考へテ置カナケレバナラナイ  
コトデアリマシテ、在野法曹ノ方ヲ司法部  
ニ迎ヘルト云フコトニ付テハ、我々ハ十分  
ノ熱意ヲ持ツテ居ルノデアリマス、然ラバ  
ソレヲ相當上ノ方ニ持ツテ行クヤウニ努力  
シテハドウカ、是レ亦御同感デアリマス、  
實ハ是マデニ於キマシテモ、我々ハ餘程上  
ノ方ニ御迎ヘラシタイト思ツタコトガアリ

フシタケレドモ、實際ノ例トシテハサウ云ト云ハズ、共ニ此ノ司法ノ爲ニ共同ノ目的ルノデアリマス、事實ハ實現サレマセヌデシタケレドモ、今後ハ在朝ト云ハズ、在野ニ邁進シテ居ル者デアリマスカラ、オ互ヒニ城壁ヲ開イテ、オ互ヒニ相助ケ合フト云フ氣風ヲ更ニ盛ニシタイト考ヘテ居リマス

次ニ斯カル決戦態勢下ニアツテ、司法官ノ氣風ヲ更ニ一層緊張セシムル具體的ノ方策アリヤ否ヤト云フ問題デアリマス、是ハ何分ニモ精神的ノ問題デアリマスカラ、具體的ニ斯ク措置シテ、其ノ措置ニ依ツテ斯カル效果ガ直ニ現ハレテ來ルト云フ譯ニハ參リマセヌガ、私共出來得ル限り或ハ會同、或ハ出張、總テ我々ト司法官トノ接觸ノ機會ヲ多ク致シマシテ、オ互ヒニ胸襟ヲ開イテ時局ノ認識ヲ高メテ行キタイト考ヘテ居リマス、尙ほ只今モ申シマシタ通り、此ノ會同ト云フノヲ其ノ方面ニ極メテ強ク利用ヲ致シタイノデアリマス、前臨時議會ノ終了直後ニ於キマシテ全國ノ院長、檢事長ヲ招集致シマシテ——是ハ全ク臨時ノモノデアリマシタガ、前臨時議會ニ於ケル御論議ノ次第モ詳細ニ披露ヲ致シマシテ、斯カル戰時法ノ運用ニ付テオ互ヒニ一生懸命ニヤラウヂヤナカト云フコトヲ具サニ申合セマシテ、院長、檢事長大イニ緊張シテシタイト思ツテ居リマス、是ハ斯カル決戦態勢下、全ク我々ハ頭ヲ一新シテ、必勝目デアリマス、サウシテ此ノ議會終了ノ殆ド直後ニ於テ、更ニ臨時ニ強力ナル會同ヲ催

マスルカラ、其ノコトヲ更ニ強ク申合ハシ  
タイト云フ會同ヲ特ニ開キタイ積リデアリ  
マス、左様ナ次第デアリマシテ、精神的ノ  
セスケレドモ、折角我々微力ヲ擧ゲテ其ノ  
方面ニ努力中デアルト云フコトヲ御諒承願  
ヒタインデアリマス

○濱野(徹)委員 只今司法部ノ人事ト機構  
ニ付テ伺ツタノデアリマス、次ニ私ハ法規  
ノ整備ト云フコトニ付テ方面ヲ變ヘテ御考  
ヘヲ承ツテ置キタイト思ヒマス、經濟罰則  
ノ調整ノ案ガ出テ居リマスガ、此ノ案ガ通  
過致シマスト、非常ニ適用ノ上ニ於テモ運  
營ニ於テモ、一言ニシテ申スナラバ、今マ  
デ統一ノ缺イテ居ツタモノガ纏マリマシテ、  
非常ニ樂ニナリ、又國民モ適歸スル所ガ明  
カニナツテ非常ニ結構ダト思フノデアリマ  
ス、併シナガラ是ハ罰則ダケデアリマスガ、  
進シニ當局ハ勇氣ヲ鼓シテ經濟統制ノ法規  
ト云フモノ全體ヲ統制スル必要ガアルノデ  
ヤナイカト思フノデアリマス、大體今日ノ  
統制經濟へ進シテ來タ徑路ヲ見マスト、所  
謂自由經濟主義カラズ那事變ノ當初ノ統制  
經濟へ移リマスマデノ間ノ過渡時代ニ於テ  
ハ、例ノ一口ニ申シマス臨時措置法、サウ  
云フモノノ殘骸ガ今日残ツテ居ル、サウシ  
テ統制經濟ノ所謂決定版トシテハ國家總動  
員法毋法デアリ、之ニ基イテ各種ノ法律、  
勅令、命令ナドガ出テ居ルサウデアリマ  
ス、或ル所ニ付テ伺ヒマスト、斯ウ云ツタ統制  
法規ノ法律、勅令、或ハ省令トカ告示ニ至ル  
マデスツカリ計算スルト約六千件ニ近イト  
云フヤウナコトヲ承リマシタ、此ノ數ヲ見マ  
シテモ、如何ニ此ノ統制經濟ノ法規ト云フモ

ノガ複雜ナモノデアリマス、是レ程數多イコトハ  
ラレルノデアリマス、是レ程數多イコトハ  
必要モアツタデアリマセウガ、是ノ何ト力  
根本法ヲ決メテ、モウ少シ簡素化スル方法  
ガ考ヘラレナイト思フノデアリマス、  
即チ今デモ其ノ殘骸ト云ツテハオカシイデ  
スガ、殘ツテ居リマスル臨時措置法、ソレ  
カラ統制經濟ノ決定版デアリマス國家總動員  
法、斯ウ云フヤウナモノヲ何トカ國家總動  
員法ノ一本ニ纏メシマフコトガ出來ナイモ  
ノカ、聞キマスト例ヘバ酒ノ公定相場ニ關シテ  
ノ法律ノ如キハ酒造稅法ニモアリマシ、ソ  
レカラ物價ノ價格ノ方面カラ來タノモアツ  
テ、適用スルコトニ非常ニ困難ヲ感ズルト  
云フヤウナ場合モアリマス、斯ウ云フヤウナ  
實例ガ相當アリマシテ、檢察ノ當局ニ於テモ  
非常ニ煩雜ヲ感ズルラシイヤウナ實情デア  
リマスシ、尙更國民ニ於テ迷惑スルコト多  
大デアラウト思ハレマスノデ、是ハ勿論司  
法省ダケノオ仕事トシマシテハ、各省ニ關  
係モ御持チノコトモアリマセウカラドウカト  
恩ヒマスガ、併シヤハリ法律下云フ方面ヲ  
主トシテ擔當サレ居ラレマス司法省ノ當  
局ニ於テ、何トカ進ンデ統制法規ト云フモ  
ノ全體ノ調整ヲ圖ル爲ニ御考ヘニナル必要  
ガナニカ、是ガ一ツデアリマス

舉ト相俟タナハドウモ旨ク行カナイ、指導ト検  
ゴザイマシタガ、斯ウ云フヤウナ點カラ考  
ヘ合セマシテモ、普通ノ從來ノ刑法ノ總則  
ダケデハイケナインオニアツテ、新タナル經濟  
刑法ト云ツタヤウナ法域ノ創設ガ必要デア  
ラウト思フノデアリマス、此ノ點ニ付テ何  
等カノ御考ヘガアレバ承リタイ、其ノ細目  
ノ一端トシテ、先ヅ經濟罰則ニ關スル刑ト  
云フモノニ付テ考ヘテ見タイト思ヒマス、  
ドウモ最近檢察當局ノオ仕事ノ大部分ハ、  
闇ノ檢舉デアルコトハ、吾々モ實情ハヨク御  
察シシテ、御多忙デアラウトハ存ズルノデ  
アリマスガ、ト云ツテ一カラ十マデ之ヲ體  
刑、罰金刑ト云フ以外ニ何等カ新シイ刑ガ  
必要デハナイカ、一昨日モ大川君ノ御話ノ  
中ニモアリマシタガ、此ノ種ノ犯人ハ從來  
ハ立派ナ地位ヲ持ツテ居リ、社會的ニハ才  
互ヒ尊敬サレテ居ツタヤウナ地位モアリ、  
恒産モアル人デアツタガ、過ツテ刑辟ニ觸  
レタヤウナ人ガ多イ、是ハ別ニ常習ト云ツ  
タヤウナ人デハナインデアリマス、ソコデ  
斯ウ云ツタ人達ニ對シテハ、何等カ別箇ノ  
刑法ヲ者ヘル、偶、先般内閣カラ、官吏ニ對  
シテ、心構ヘヲ滲透サス爲ニ更道訓ト云フ、  
新タナル構想ヲ入レタモノガ發表セラレル  
ト共ニ、官吏ノ服務紀律ニモ、所謂閉門ト  
カ、謹慎トカ云フ日本人ノ氣質ニ合ツタ所ノ  
懲戒ト云ツタヤウナモノガ新タニ布告セラ  
レテ、私達ハ實ニ時宜ヲ得タモノト存ズル  
ノデアリマス、サウ云フヤウナ構想ニ思ヒ  
ヲ致シマシテ、此ノ經濟罰則ノヤウナ、從  
ナ法域ニ觸レタヤウナ場合ニハ、從來ノ體

刑、罰金刑以外ニ、例ヘバ言葉ヲ換ヘテ申コトヲ表示シテ、銳キ日本の良心ノ省察ヲ求メル機會ヲ與ヘテ、サウンテ體刑、罰金刑ニ代ヘルヤウナ刑ガ必要デナイカ、能ク闇取引デ處罰セラレタ中ノ家庭ノ人達ノ言葉ヲ聞キマスルト、自分達ハ知ラヌノダ、今マデ何々ト云ツテ附近カラ尊敬サレテ居ツタ父ガ斯ウ云フコトニナルトハ知ラナカツタト云ツテ、家族ノ嘆クノヲ見ルノデアリマス、サウ云フヤウナ實情カラ考へ合セマシテ、例ヘバ門標ニ大キナ黒ノ星ノ付イタヤウナモノヲ張出ストカ、隣保ト云フヤウナモノモアリ、町内會ト云ツタヤウナモノモ組織サレテ居ルノデスカラ、サウ云フヤウナモノノ力ニ依ツテ刑ヲ執行スルト云ツタヤウナ、新タナ工夫ガアリサウナモノダト思フノデアリマスガ、是ハ經濟刑法ノ領域トシテ早速ニ一ツ御考ヘ願フベキデハイカト思フノデアリマス、是ガ第二デアリマス

○大森政府委員　御答へ致シマス、第一點  
デアリマスガ、經濟各關係法規ノ調整統一  
ニ付テ何等考へテ居ルカト云フ御趣旨ニ  
拜承致シタノデアリマス、是レ亦御尤モデ  
アリマシテ、御承知ノヤウニ經濟關係ノ法  
規ハ非常ニ多岐ニ互ツテ居リマシテ、實ハ  
私共ノ如キモ煩ニ堪ヘナイヤウナ感ヲ持ツ  
コトスラアルノデアリマス、併シ今日之ヲ  
ドウ云フ工合ニ調整スルカ、統一スルカ、  
是レ亦相當困難ナ問題デアリマス、御承知  
ヤウニ經濟關係ノ法令ハ其ノ時々ノ必要ニ  
應ジマシテ、逐次出テ參ツタノデアリマス、  
之ヲ今日集成スルコトハ相當困難グラウト  
思フノデアリマス、併シ出來得ルナラバ左  
様ナ困難ヲ排除致シマシテ、集成統一スル  
コトノ結構ナルコトハ申上グルマデモナイ  
ノデアリマス、尤モ御指摘ノヤウニ是ハ他  
省トノ關係モアリマスカラ、司法省ダケデ  
ハ何トモ申兼ネマスケレドモ少クトモ司法  
省ト致シマシテ、出來得ルナラバサウヤリ  
タイト云フ考へハ十分ニ持ツテ居ルノデア  
リマス、左様ナ關係カラ致シマシテ、其ノ  
問題ソレ自身デハアリマセヌケレドモ、之  
ニ屬スル問題デ比較的具體的ノ效果ヲ上ガ  
リ易イト思ハレル事項即チ經濟罰則ノ整備  
ノ問題デアリマス、デアリマスカラ先ヅ第一  
ノコトニ致シマシテ、色々御苦勞ヲ願ヒマ  
シテ、是ハ著々成果ヲ上げテ居ルヤウニ思  
フノデアリマス、デアリマスカラ先ヅ第一  
著手トシテハ此ノ罰則ノ整備統一、之ヲヤ  
リ遂ゲマシタナラバ、其ノ經驗ニ基キマシ

テ、更ニ根本的實體ノ問題ニ入り、果シテ調  
整統一ガ出來ルカドウカ、出來ルトスレバ  
斯様ナ方法ニ進メナケレバナラヌト云フ工  
合ニシテ、徐々ニ歩フ進メテ行クベキモノ  
ダト考ヘテ居ルノデアリマス、即チ御示シ  
ノ點ハ私共モ其ノ必要ヲ痛感ハ致シテ居リ  
マス、但シドウ云フ工合ニ之ヲ成就セシム  
ルカト云フコトニ付テハ、只今苦慮シテ居ル  
ヤウナ次第デアリマス

第二點デアリマスルガ、經濟刑法ノ特殊  
ノ地位ニモ鑑ミ、之ヲ今日ノ刑法ノ組織カド  
ラ放シテ別ニ考ヘテハドウカ、是レ亦至當  
ナル御意見ダト拜承致シタノデアリマス、  
殊ニ其ノ刑罰ノ種類、現在行ハレテ居リマ  
スル刑罰ノ種類デ足リルカドウカ、或ハ其  
ノ他ニ工夫シテハドウカト云フ御説ノヤウ  
ニヤウ聽テ致シマシタ、今日御承知ノ既ニ定  
メラレテ居リマス體刑金刑ノ外他ノ種類ノ  
刑罰ヲ制定シテハドウカト云フコトハ、是  
マデ種々論議ノアツタ所デアリマス、之ヲ  
大ニシテハ流刑、之ヲ小ニシテハ閉門、謹  
慎ト云フヤウナコトヲ考ヘテハドウカト云  
フヤウナ御議論ハ、色々我々モ拜聽致シテ  
居ルノデアリマス、尤モ經濟統制ノ方ハ、  
流刑ト云フコトハ考ヘラレナイデセウガ、  
閉門謹慎ト云フコトニ付テハ十分ニ考慮シ  
テモ宜カラウト思フノデアリマス、但シ是  
レ亦他トノ牽聯ガ中々難カシイ問題デアリ  
マシテ、容易ニ斯ウト云フコトハ申上ゲラ  
レマセヌケレドモ、折角ノ御注意モアツタ  
ノデアリマスカラ、十分ニ他トノ權衡ヲ考  
ヘツ、研究致シタイト存ジテ居ルノデアリ  
マス

之ヲ感謝スル次第アリマス、御承知ノヤ  
ウニ事犯ガ現レテカラ罰スルノデハ實ハア  
マリ效果ガナイノデアリマス、事犯ガ現ハ  
レズニ濟ムナラバニ越シタコトハナイノ  
デアリマス、デアリマスカラ此ノ事犯豫防  
ノ爲ニ私共出來得ルダケノ努力ハ致シテ居  
リマスケレドモ、先づ根本的、先決的ト申  
シマスルカ、遵法精神ノ涵養ト云フコトガ  
必要グラウト思ヒマシテ、皆様方ニ色々御  
苦勞ダ願ツテ居ルヤウナ次第デアリマス、  
厭ヤ／＼ナガラ法律ニ遵フト云フヤウナコ  
トデハ、是ハ十分デナイノデアリマシテ、  
進ンデ法ヲ愛護スル、法ニ親シム、斯ウ云  
フ觀念ヲ深メテ參リタイト思ツテ居リマス、  
サウシテ只今御示シニナリマシタヤウニ、  
我ガ國ハ内地ニ於キマシテモ南北頗ル長キ  
ニ亘ル國ニアリマシテ、諸々方々ニ特殊ノ  
名產ノアリマスルコト、全ク御指摘ノ通リ  
デアリマス、何デモ汽車辨當ニ、事變前ニ  
ハ九十何種アツタト云フコトヲ承ツテ居リ  
マスガ、ソレ／＼特殊ノ名物、色々特產ガ  
アリマスルカラ、ソレ等ノ事情ニ應ジテ各  
地各地デ遵法精神ヲ根本義トシテ、經濟事  
犯ノ豫防ニ專念スルト云フ必至ハ、私共モ  
十分ニ痛感ヲ致シテ居ルノデアリマス、全  
ク仰セニナリマシタヤウナ御趣旨ノ下ニ、  
極メテ小規模デアリマスルケレドモ、ソ  
レ等業者ナリ、又ハ地方ノ有力者、之ヲ迎  
ヘマシテ判檢事ト協同シ、種々協議シシテ  
經濟事犯豫防ノ爲ニ貢獻フシタイト云フ  
策ヲ致シマシテ、豫算ニ於テ御協賛ヲ顧  
ヒシツ、アル次第デアリマス、ソレハ統制  
所ニ於キマシテ一回先づ百人バカリ御集リ  
ヲ願ヒ、之ヲ年八回開イテ行ク、斯ウ云フ

計畫デアリマシテ、之ニ要スル費用ガ八萬七千七百二十圓デアリマス、是ハ豫算ニ計上シテ居ルノデアリマス、固ヨリ是ハ小規模デアリマシテ、謂ハバ試金石デアリマシテ、是デ成果ヲ舉ゲマスルナラバ、段々ト擴大ヲシタイト云フ積リデアリマス、全ク御趣旨ノ通リデアリマスルガ、殘念ナガラシタ

○濱野(徹)委員 最後ニ一點ダケ伺ヒタイ、司法權ノ適正ナル運用ノ爲ニ裁判官、檢察當局ノ御熱誠ニ俟ツベキト恩ヒマスガ、併シ茲ニ在野法曹ノ存在ヲ忘レテハナラナイト存ジマス、即チ裁判所ト檢察局トサウシテ辯護士ガ所謂司法ノ三位一體ダト云フヤウナ言葉ガアル所以デアルト存ジマス、特ニ今日ノ銃後ノ治安確保、今次官ノ仰セラレマシタヤウナ遵法精神ノ昂揚ト云ツタヤウナコトニハ在野法曹ノ熱心ナ協力ヲ得ラレルコトガ先づ適切ナコトデアラウト存ズルノデアリマス、實ニ今日ノ在野法曹ノ負荷スル使命ト責任ハ洵ニ重且ツ大デアリ、辯護士諸君モヨク此ノ時局ノ重責ニ應ヘント折角精進致シテ居リマス勿論私達モ今日ノ辯護士ノ制度ト云ツタヤウナ點ニ付キマシテ、時局ニ相應シタ何等方創意ト構想トヲ織込ンダ立法が必要デハナイカト思ハレヤウナ節モナインデハアリマセヌ、併シソレハ根本ニ瓦ルコトデアリマスルカラシテ此ノ際遠慮致シマスルガ、聞キマスルト全国ノ辯護士ノ大部分ノ諸君ガ大同團結サレマシテ——名前ハ失念致シマシタガ、大日本辯護士報國會ト云ツタヤウナ名稱ノ下

ニ一致團結シテ法曹報國ニ邁進シヨウト云フ企テガアリ、最近其ノ結成式ガ行ハル、ト云フコトデゴザイマス、此ノ大同團結ハ從來ノ辯護士——全國ニ數千ニ餘リマスル辯護士ガ常ニ企テ、居リナガラ出來ナカツタ所ノ一大團結ガ從來ノ小異ヲ捨テ、大同ニ走リ、本當ニ銃後ノ治安確保ニ司法ノ當局ト熱誠ナル協力ノ下ニ御奉公シタイト云フ此ノ誠意ニハ本當ニ心嬉シク存ズルノデアリマス、就キマシテハ司法ノ當局ニ於カラマシテモ、此ノ辯護士側ノ熱意ニ相照應セラレマシテ、將ニ生レントスル時期ノ近イ所謂大日本辯護士報國會ニ對シマシテハ十分、積極的ナル御支援ト御熱意ヲ御持チ下サルコトガ司法權權威ノ爲メニモ又其ノ活潑ナル動キノ爲ニモ必要デアルト存ズルノデゴザイマスルガ、此ノ邊ノ當局ノ御用意ヲ御漏シヲ願ヒタイト思ヒマス

○大森政府委員 御示シノヤウニ在朝在野ノ法曹ガ互ヒニ協力シテ參リマセヌケレバ、司法ノ興隆ノ期セラレナイコト全ク私共ノ御同感ニ存ジテ居ルノデアリマス、實ハ在朝在野ト云フ言葉スラ水臭イ位ニ考ヘテ居ルノデアリマシテ、オ互ヒニ法律家トシテ共同ノ目的即チ正義昂揚ノ爲ニ邁進シテ居ルモノダト思ツテ居ルノデアリマス、御承知ノヤウニ嘗テハ司法官、辯護士ト相剋テ御異議ハゴザイマセヌカ

○谷原委員長 大體三案ニ對スル質疑ハ盡キタヤウニ思ヒマスルガ、是デ質疑ヲ終ツテ御異議ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼ブ者アリ〕

○谷原委員長 ソレデハ三案ニ對スル質疑ハ終了致シマシタ、討論及ビ採決ハ次回ニ致シマス、午後一時カラ朝鮮ニ於ケル裁判居ルモノダト思ツテ居ルノデアリマス、御手續簡素化ノ爲ノ國防保安法及治安維持法ノ制定ニ付キマシテ目下ソレドモ手續中デゴザイマス、然ル所國防保安法及ビ治安維持法ハ朝鮮ニモ法律トシテ施行セラレテ居リマスルガ、此ノ兩法律中ニハ裁判手續ニ關スル規定ガアリマシテ、其ノ中ニ三審制ヲ規定スル條文即チ國防保安法第三十四條及ビ治安維持法第三十四條ガゴザイマス、是等ノ規定ハ内地ニ於キマシテハ法律タル裁判所構成法戰時特例ニ依リマシテ排除セラル、コトトナツタノデアリマスルガ、朝鮮ニ於キマシテハ二審制ヲ採用セントス

ル關係上、前述ノ如ク三審制ヲ許容致シテ居リマスル國防保安法及ビ治安維持法ノ法律規定ハ之ヲ排除シ得ナイ次第ゴザイマス、仍テ此ノ度本法ニ依リマシテ是ノ規定ヲ排除シ、法律ト制令トノ抵觸關係ヲ調整致シマシテ、以テ朝鮮ニ於ケル裁判ニ付キ全面的ニ二審制度ヲ實施セントスル次第ゴザイマス、何卒御審議ノ上御協賛ノ程ヲ御願ヒ致シマス。

○谷原委員長 是ヨリ質疑ニ入リマス、通告順ニ依リマシテ順次許可致シマス——金子定一君

○金子(定)委員 私ハ是等ノ法律案ヲ審議スル前ニ、此ノ對象トナルベキ朝鮮ノ民心ノ動向、特ニ滿洲事變カラ支那事變、大東亞戰爭ニ入リマシテ格段ノ變化ヲシタコトガアルヤウニ考ヘマスノデ、ドウゾ此ノ點ニ付テ御伺ヒ致シタトイ思ヒマス、是ハ政務總監ニ伺フノガ一番宜クハナイカト思ヒマス。

○安藤國務大臣 ソレデハ政務總監カラ御答へ致サセマス

○田中(武)政府委員 朝鮮ノ最近ノ民心ノ傾向ハ、特ニ支那事變以來、又最近大東亞戰爭勃發以來段々皇國民化ト申シマスルカ、皇軍臣民トシテノ一般ノ考へ方ガ漸次シツカリ致シテ參リツ、アリマス、滿洲事變以來今日マデ、事變ニ協力致シマスル所ノ朝鮮全域ニ於キマスル大衆ノ協力姿勢ハ、或ハ國防ノ獻金デアリマストカ、又ハ金屬類ノ回收デアリマスルトカ云フヤウナコトニ、涙グマシイ程ノ誠意ヲ披瀝シテ參ツテ居ルノデアリマス、其ノ程度ハ段々ト濃厚ニナリ深クナツテ來テ居ルヤウニ思ハレマスルガ、之ヲ國防獻金ノ如キ一例ニ取リマシテモ、

支那事變勃發後昭和十六年ノ末頃ニ至リマスル四箇年デ糙カ千二、三百萬圓ノ獻金ガ後一箇月足ラズデ其ノ期待額以上ノ額ニ達シテ居ルヤウナ獻金ヲ立てコロニ見タト云フヤウナ狀況デアリマシテ、時局ニ協力スル姿が非常ニ濃厚ニナツテ來テ居リマス、尙又最近特ニ現ハレタ現象ト致シマシテハ、御承知ノ通リニ本年カラ徵兵制ガ施行サレマシテ、今年検査ヲシ、此ノ暮頃ニ入隊スルノデアリマスルガ、是ヨリ先内地ニ於キマスル所ノ學徒ガ出陣ヲ致シタノデアリマシテ、之ニ關聯シテ朝鮮ノ學徒モ志願スル者ハ採用スルト云フ制度ガ布カレタノデアリマス、是等ノ制度ニ付キマシテモ實ハ如何デアラウカト考ヘテ居ツタノデアリマスルガ、色々ノ事情ニ者モゴザイマスケレドモ、全體ト致シマシテハ非常ナ好成績ヲ收メマシテ、現ニ朝鮮ノミニ在學ヲ致シテ居リマスル者ハ其ノ九割八分、又内地ニ在學ヲ致シテ居リマスル者ハ約九割五分ト云フ成績ヲ以チマシテ入營ヲ致シタノデアリマス、斯様ナ現象ハ内地ノ學徒ガ勇ンデ出陣ヲ致シマス其ノ事實ニ感激ヲ受ケタ點モ多々アリ、又今日マデヤツテ參リマシタ所ノ皇民教育ト云フモノノ成果ノ現ハレモ無論アルノデアリマスルガ、又父兄母子、朝鮮ノ社會全體ガ自覺メテ參リマセヌト、制限アルノデアリマス、殆ド面目ヲ改メタト云ツテ宜イ程、サウ云フ方面ニ付テハ誠實ヲ維持致シテ參リマシタ、隨ヒマシテ警察竝ニ檢事局兩方面ニ現ハレマシタ所ノ犯罪ノ趨勢ノ如キモ、漸次減少ヲ致シテ參ツタノデアリマス、唯思想事件ノ一部、或ハ經濟統制ニ伴ヒマス各般ノ經濟事犯ト云フ度上決メテナイ所ノモノガ出陣ヲスルト云フコトハ中々困難デアリマス、是ガ只今申シマスヤウナ成績ヲ以チ入營ヲ致シマシタト云フコトハ、本人ノ自覺モナルコトナガラ、父兄母子ト云フヤウナ方面ノ自覺ト云フモノガ與ツテ力ガアツタノダラウトス様ニ考ヘルノデアリマス、固ヨリ多勢ノコト

デアリマスノデ、中ニハ世間カラ批判ヲサスコトニ相成リマシタノデ、サウ云フヤウレルヤウナ言動ヲ致シマス者モ絶無デハナクトデ犯罪件數トシテハ少シ殖エテ參ツタノデハナイカ斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマスガ、全體ノ數カラ申シマスレバ極メテ微々タルモノデアリマシテ、大體ハ非常ニ順調ニ參ツタト云フコトガ實際ノ狀況デアリマス、一應大體ノ趨勢ヲ申上ゲタノデアリマスガ、尙ホ具體的ノ事項デモ御示シガゴザイマシタナラバ、ソレニ應ジマシテ又御答へ申上ダタイト存ジマス。

○金子(定)委員 只今ノ御答辯ノ大體デ朝鮮ノ現在ノ光明ノ姿が能ク窺ハレマスルガ、ソレニ應ジマシテ又御答へ申上ダタイト存ジマス。

○田中(武)政府委員 警察竝ニ司法ノ方面カラ見マシタ民心ノ傾向デアリマスルガ、是モ金子サン夙ニ御承知ノ通リニ、滿洲事變以來世間ノ情勢ガサウ云ウ工合ニサセタト思フノデアリマスガ、全ク從前ノ姿ト變りマシテ、非常ニ穩カニナリマシテ、一時民族主義、共產主義兩運動ガ相當展開致サレテ居リマシタノガ、殆ド面目ヲ改メタト云ツテ宜イ程、サウ云フ方面ニ付テハ誠實ヲリマシテ、非常に穩カニナリマシテ、一時民族主義、共產主義兩運動ガ相當展開致サレテ居リマシタノガ、殆ド面目ヲ改メタト云ツテ宜イ程、サウ云フ方面ニ付テハ誠實ヲリマシテ、非常に穩カニナリマス、大勢ト致シマシテ、政治的面目ガ一新致シテ居リマシテ、ノデアリマス、唯思想事件ノ一部、或ハ經濟統制ニ伴ヒマス各般ノ經濟事犯ト云フヤウナモノハ、多少兩三年殖エテ參ツテ居ルヤウナ現象デアリマス、經濟事犯ノ如キハ其ノ違反ノ行爲モ確カニ相當件數ハアラノ民衆ガ何カノ影響ヲ受ケナシ譯ガナ、隨テ東京カラ朝鮮ヲ見マシテ、コチラデ噂ス

リマシテハ考ヘテ居ルヤウナ次第デアリマス。

○金子(定)委員 大東亞戰爭以來大東亞ノ政治的面目ガ一新致シテ居リマシテ、特ニノデアリマス、政治上ノ關心ヲ非常ニ持ツテ居リマス朝鮮ノ民衆ガ何カノ影響ヲ受ケナシ譯ガナ、隨テ東京カラ朝鮮ヲ見マシテ、コチラデ噂ス

シマスコトハ今ノ朝鮮ニ於ケル政治上ノ希望、要望ガ何等カノ形式デ現ハレハシナカ、ソレガ事ニ依ツタナラバ潜在、乃ルダケ惡質ナ犯罪ノ檢舉ト云フコトニ當ラト云ツタヤウナ不安ガ現ニ東京ニアルノデ

ゴザイマスが、其ノ邊ノコトヲ御伺ヒシタ  
ウゴザイマス

○田中(武)政府委員 少シ質問が具體的ノ  
内容ニ入ツテ参りマスノデ、一寸速記ヲ止  
メル程度デ御話シ致シタイト思ヒマス  
○谷原委員長 只今政府ヨリ速記中止ヲ求  
メラレマシタガ、速記ハ此ノ儘繼續致シマ  
シテ、此ノ部分ハ密封シテ保存致スコトト  
シ、會ノ記錄ヨリハ之ヲ省キマス

○金子(定)委員 只今ノ御答辯ニ關聯シマ  
シテ、食糧ノ供出、配給、其ノ他現在半島  
ニ於ケル民衆ノ生活、是ハ政治的方面ト可  
ナリ深ク交渉ガアルト思フノデアリマス  
ガ、供出、配給ニ伴フ國民生活ノ實情ヲ概  
略御伺ヒシタインデアリマス

○金子委員 只今ノ御答辯ノ大體ハ寧ロ公  
表ナサイマシテ、内地、朝鮮ノ民心ニ能ク  
能ク理解サセタ方ガ宜イノデハナイカト思  
ヒマス、御差支ヘナイ程度デ此ノ種ノ事情  
ハ、總督府側ナリ内務省側ナリカラ一般ニ  
御示シヲ願ヒタイト云フ希望ヲ申上ゲテ置  
キマス

次ニ、今マデ御詫ノアリマシタ朝鮮ノ眞  
ノ姿ト云フモノハ、東京等ニ於キマシテハ  
割合認識理解ヲサレテ居ナイ、斯ウ云フコ  
トハ朝鮮問題ノ最モ大キナ癌的障碍デアル  
ト考ヘテ居リマス、私モ相當年數朝鮮ニ  
モ居リ、滿洲ニ於ケル朝鮮人ノ問題モ扱ヒ、  
サウシテ東京ニ歸ツテ來テ深ク感ジマス  
コトハ、東京中心ノ日本ノ知識階級ナリ、

ル認識が非常ニ淺ク、或ハ又非常ニ間違ツ  
テ居ルト云フ事柄デアリマス、當局ニ於カレ

マシテモ絶エズ此ノ點ハ御努力ニナツテ居  
ルコトハ認メマスガ、尙ホ此ノ上百尺竿頭  
一步ヲ御進メニナルコトヲ實際要望ニ堪ヘ  
ナイノデアリマス、ソレガ反映致シマスト、  
今回ノ學徒出陣ニシマシテモ、半島方面ニ  
於テハ只今御管轄ノ通り九八%ニ上リマシタ  
ガ、日本内地ニアリマシテハ一時ハ容易ニ  
所費一枚二千円食料ニ居リマス、

其様の數字ニハ上り氣者云居リシタ  
ソレハ朝鮮ノ學生達ガ日本内地ニ參リマシ  
テ、朝鮮ニ對スル日本内地人ノ認識ノ不足  
其ノ他ノ事カラ、色々ナ精神的影響ヲ受  
ケマシタコトモ多分ニ加味サレテ居ルト考  
ヘルノデアリマス、第一線ニ行キマシテ彼  
等ガ斯様ニ祖國愛ヲ持チ來ルト云フコトハ、  
是ハ半島人ト雖モ第一線將兵ト共ニ起居致

大キナ動機ガアルト、私ハ自分ノ體驗カラ  
サウ思ヒ込ンデ居ルノデアリマス、半島人  
ヲシテ生甲斐ヲ感ゼシメルコトハ、皇國臣  
民トシテノ扱ヒヲ我々内地人ガ身ヲ以テ致  
スコトニアルト思フノデゴザイマス、東亞  
ノ共存共榮、此ノ半面ハ共ニ尊ビ共ニ愛ス  
ル共尊共愛デアリマス、共ニ尊ビ共ニ愛ス

ル共尊共愛カラ東亞ノ共ニ存シ共ニ榮エル、  
共尊共愛ガ招來サレルト思フノデアリマス  
ガ、内鮮ノ間柄ニ於キマシテモ更ニ現在ノ  
半島ナリ、半島人ニ對シマスル認識ヲ確力  
ニ持チ、其ノ長所美點ヲ認メテ、尊ブベキ  
モノハ尊ビ、愛スベキモノハ愛シマシテ、  
本當ノ内鮮一體、皇國一億一心トナレルモ  
ノト考ヘルノデゴザイマス、朝鮮ノ現在ノ  
姿ヲ内地人ニ一日モ早ク知ラシメ、又當局  
ノ施設モ之ニ半ヒマスルヤウニ折シテ己マ

ナイノデニサイマス、私ノ申シマシタエト  
ハ言葉ガ足リマセヌケレドモ、大抵御察シ

ト思ヒマス、之ニ對シマシテ御答辯ナリ御  
感想ガアリマシタナラバ伺ヒタイト思ヒマ  
ス

レ十分發表し出来得マ不時期ニ飼ト又御詔  
ヲ申上ゲタクト思フノデアリマス、全體ノ  
朝鮮ガ時局ニ協力ヲ致シテ居リマスル事情  
等ニ付キマシテハ、五大重點產業ハ勿論、  
各種產業ニ於キマシテ、殆ド鐵、輕金屬、  
石炭、特ニ鐵、輕金屬デアリマスガ、サウ  
云フヤウナ方面ニ於キマシテハ朝鮮ノ内地  
ニ對シ負擔致シテ居リマスル地位ガ段々ト  
架ク伸ゼテ參りマシタノデ、此ノ點ニ付キ

マシテモ非常ナ決心ヲ以テ増産ニ努力ヲ致シテ居リマス、數字ノ内容ヲ申上ゲル譯ニハ行キマセヌケレドモ、全體ノ中ノ餘程大キナ部門ノ負擔ヲ命ぜラレテ居ルヤウナ次第デアリマス、其ノ他勞務等ノ點ニ付キマシテモ朝鮮内ノ勞務ノ靈給ハ勿論、内地ニ對シマスル所ノ勞務ノ提供等ニ於キマシテ

モ、以前ニ比ベテ見マスルト懲クベキ數量ノ貢獻ヲ致シテ居リマス、ソレカラ全面的ノ内鮮兩者ノ關係ニ付キマシテハ、是ハモウ御話ノ如クニ始終我々ト致シマシテハ此ノ融合理解ノ透徹ト云フコトヲ望ンデ居ルノデアリマシテ、是ガ爲ニハ朝鮮ト致シマシテハ出來ル限り朝鮮大衆ノ教養訓練ニ當リマシテ、是ガ道義的ナ水準ヲ上げテ行クト云フコトニ努メルノハ勿論デアリマシテ、現在ニ於キマシテモ御承知ノ如クニ兵タル

資質ノ修練ト云フコトヲ目的ト致シマシテ、

義務トシテノ青年特別鍛成ヲ實施致シテ居リマス、尙又近ク女子ニ對シマシテモ男子同様ノ鍛成ヲ施シテ行クト云フコトニ相成ツテ居ルヤウナ次第アリマシテ、何ト致シマシテモ民族性自體ヲ純化シテ行ク、是ガ道義水準ヲ上ゲテ行クト云フコトガ絶對ニ必要ナコトデアル、ト同時ニ内地ノ側ニ對シマンド、半島同包乍立イ茲ミ、大變ノ情

シテシテハ半島同胞ニ尊ニ慈愛ナ愛ノ精  
神カラ之ヲ兩翼ニ抱ヘテ進ンデ行クト云フ  
コトノ認識自覺ヲ段々深メテ行ツテ貰フヤ  
ウニシナケレバ相成ラヌト斯様ニ考ヘテ、  
從來共全力ヲ注イデ居ルヤウナ次第デアリ  
マス、併シナガラ何ト申シマシテモ相當地  
域ガ隔絶致シテ居リマスノト、又根本ニ於キ  
マシテ多少感情ノ疎通致シテ居リマセヌ點  
ガアル結果、勞務者等ガ内地ニ渡リマシタ場

トハ我々當局ト致シマシテモ淘ニ遺憾ニ考  
ヘテ居ルヤウナ次第アリマス、併シ斯様  
ナコトハヤハリ内鮮兩方カラ御互ニ啓發ヲ  
シテ參リマシテ、内鮮ノ固イ紐帶ヲ結ンデ  
行クト云フコトデナケレバナラヌトス様ニ  
考ヘテ居ルヤウナ次第アリマス

○金子(定)委員 只今ノ御答辯ヲ伺ヒマシテ  
モ洵ニ其ノ感ヲ深クスルノデゴザイマスガ、  
此ノ際内務當局ニ一ツ御伺ヒシテ置キタイ  
總督府ト致サレシマシテハ朝鮮ノ現段階ニ於  
ケル姿ヲ何トカシテ日本内地ニ紹介シタ一、是  
ハ勿論ノ御希望デアラウト思ヒマスガ、其  
ノ效果ガ十分ニ上ツテ居ルカト申シマスト、  
遺憾ナガラサウハ申セナイ點ガゴザイマス、  
現ニ昨年ノ九月、京城ニ國民總力聯盟ノ主  
催ヲ以テナサレマシタ朝鮮問題ノ懇談會實

第六類第七號 訴訟費用等臨時措置法案外二件委員會議錄 第三回 昭和十九年一月三  
之ニハ翼賛會系統ノ名士ガ多數ニ列席ヲサ  
レマシタ、現ニ代議士ノ高木義人中將ナド  
モ行カレマシタガ、歸ツテ來テノ話ニ、君  
ガ平生言ツテ居ル朝鮮ヨリモ本當ノ朝鮮ハ  
モツト～立派デヤナイカ、アレダケ時局  
ニ朝鮮ガ熱ト力ヲ捧ゲテ居ルコトヲ見テ本  
當ニ感激シタ、君方モツト朝鮮ヲ良ク宣傳シ  
テ宜イト言ツテ居ラレマシタガ、朝鮮ノ仕  
事モ内務省ノ方ニ移管ニナリ、内務省トサレ  
マシテモ朝鮮ノ真相ヲ日本内地ニ紹介スベ  
ク、之ニ對シテ常ニ適當ナル施設ヲナサル  
ヤウ御考慮申トハ思ヒマスガ、尙ホ私ノ申  
上ゲマシタコトニ付テ御答辯ナリ御感想ガ  
アリマシタナラ同ヒタイト思ヒマス

○唐澤政府委員 只今半島同胞ニ對スル内  
地人ノ認識啓發ノ點ニ付テ御發問ガアリマ  
シタ、内務當局ト致シマシテハ全ク同感デ  
アリマス、御承知ノヤウニ半島同胞ハ大東  
亞戰爭以來相當多數内地ノ鑛山、工場、港  
灣、殊ニ鑛山ニ集團的ニ移入セラレマシテ、  
時々例外的ナ間違ヒハアリマスルケレドモ、  
其ノ大勢力ラ申シマシテ半島同胞ハ衷心ヨリ  
産業戰士トシテ大東亞戰爭ヲ勝抜ク爲ニ全  
力ヲ擧ゲテ協力致シテ居ルヤウナ譯デアリ  
マス、唯洵ニ遺憾ナコトニハ時々思ハシク  
ナイヤウナ事態ヲ惹キ起シマス、中ニハ警  
察取締ノ對象トナルヤウナコトモ絶無デハ  
ナイノデアリマス、其ノ原因ヲ考ヘテ見マ  
スルト、一面ニ於キマシテハ半島同胞ガ言  
葉ニ熟達シテ居ラナイ或ハ内地ノ風俗習慣  
等ニ馴染シテ居ラナイト云ファヤウナ點モア  
リマスルガ内地人側トシテ反省シテ見マス  
ルト、ヤハリ先程御話ノアリマシタヤウニ、半島  
並ニ半島人ニ對スル認識ノ徹底ヲ缺クト云フ點  
ガアルト考ヘラレマス、其ノ結果從來カラ  
偶アリマスルヤウナ偏見ヲ持チマシタリ、  
或ハ半島同胞ニ對シテ不用意不注意ナ言動  
ノアリマシタヤウナコトニ端ヲ發シテ時ニ  
暴行ニ及シダヤウナコトモアルノデアリマ  
シテ、其ノ根本ハ内地同胞ノ半島同胞ニ對  
シテ先程政務總監カラ御話ガアリマシタヤ  
ウニ、大乘的ナ見地カラ大キナ友愛ヲ以テ  
之ニ臨ム、半島及半島人ニ對スル徹底シタ  
認識ヲ以テ之ニ臨ンデ居リマシタナラバ、  
左様ナ間違ヒモ起キナカツタデアラウト考  
ヘルヤウナ節モアルノデアリマシテ、是ハ  
内鮮双方ヨリ心ヲ開イテ融和ノ途ヲ講ズル  
コトニ依ツテ此ノ問題ハ打開出來ルト確信  
致シテ居リマス、斯様ナ考ヘカラ内務省ニ  
於キマシテハ是非其ノ方向ニ向ツテ努力ヲ  
致シタイト考ヘテ居リマスルガ、内地ニ參  
リマシタ半島同胞ニ對スル取扱ト致シマシ  
テハ、御承知ノヤウニ内地ノコトデアリマ  
スカラ各省ニ於テソレノノ權限ガ分レテ  
居リマシテ、既ニ御承知ノコトテ思ヒマス  
ルガ、學生ニ關スルコトニ付テハ文部省ガ  
アリ、朝鮮總督府ト連絡ノ下ニ獎學會ガア  
リマス、勞務者ノ關係ニ於キマシテハ現在  
ノ所厚生省主管ト致シマシテ協和會ガ世話  
ヲ致シテ居ルノデアリマス、併シナガラ内  
務大臣ハ朝鮮並ニ半島同胞ニ關スル仕事ヲ  
統合シテ居リマスル立場ニアルノデアリマ  
スルカラ、文部、厚生兩省トモ豫ネノカ  
ラ此ノ點ニ付キマシテハ研究懇談ヲ重ねテ  
居ルヤウナ次第アリマシテ、是等各種ノ  
公益團體ノ所屬等ニ付キマシテ、過般貴族  
院ノ委員會ニ於キマシテモ色々ト有益ナ御  
意見モ承リ、今後モ厚生文部兩省ト十分懇  
談ヲ續ケテ參リタイト考ヘテ居ルヤウナ次

○金子(定)委員 只今ノ御答辯ノヤウナ御  
方向ニ御盡力ニナルト云フコトハ御尤モデ  
ゴザイマス、深ク御期待ヲ申上ゲマスガ、或  
尙ホ世局ニ鑑ミ急速ニ政治的ナ解決方法ヲ  
御講ジニナリ半島人ノ前途ニハツキリシタ  
光明的目標ヲ持タセルト云フコトガ可ナリ  
必要ノヤウニ考ヘルノデゴザイマスガ、或  
ハ斯様ナコトガ日本ノ媚態デアツテ、半島  
人ニ如何ハシイ氣持ヲ持タセルノデヤナイ  
カト云フヤウナ說モ間カナideハゴザイマ  
セヌケレドモ、大所高所カラ見マスルニ斯  
様ナ些細ナコトハ懸念スル要ハナイ、兎モ  
角モ其ノ前途ニハツキリシタ光明ト目標ヲ  
持タセ、彼等ニ生甲斐ヲ感ゼシメ、此ノ曠  
古ノ聖業ニ眞ニ心カラ湧キ立ツ協力ヲナサ  
シムルコトガ現段階ニ於テ最モ大切ナコト  
デハナイカ、斯ウ考ヘルノデゴザイマス、  
如何デゴザイマセウカ

○唐澤政府委員 淳ニ同感デアリマシテ、  
半島同胞ニ將來ノ光明ヲ與ヘテ心カラナル  
協力ノ覺悟ヲ決メサセル、斯ウ云フコトハ  
恐ラク半島同胞ニ對スル問題ノ根本義ト考  
ヘル譯デアリマシテ、御說ニ對シマシテハ  
全ク同感ニ存ジマス

○金子(定)委員 尚ホ少々枝葉ニ亘ルヤウ  
デアリマスガ、一、二ノコトヲ御尋ネ申上  
ゲマシテ私ノ質問ヲ終リタイト存ジマス、  
ト申シマスノハ朝鮮ニ於キマシテハ一般ニ  
内地人同様ノ氏ト名ト新設サレマシタ、  
日本内地ニ於キマシテハ之ニ關シテ色々ナ  
リマスガ、當局ノ御所見ハドウデゴザイ  
マスカ、是ガ一ツ、モウ一つハ内鮮人ノ結婚  
問題ニ關シテ、東京ノ新聞雜誌ニハマダ論

議サレデ居リマセヌガ、様々ナ外來思想ノ  
影響ト申シマスカ、或ハ眞ニ眞面目ニ日本  
ノ本國ノ歴史ニ鑑ミテナサレル議論モアル  
ヤウデアリマス、私思ヒマスノニ斯様ナコ  
トハ先づ此ノ時局ニ於テハ、論議スペカラ  
ザルモノト考ヘルノデゴザイマス、昔内鮮結  
婚ノ結婚ガ法律上認メラレナカツタ時代デ  
モ、一年ニ七十件乃至百件ハアツタノデア  
リマス、今半島ノ民間運動トシテハ内鮮結  
婚ヲ獎勵致シテ居リマスガ、一年間恐ラク  
二百件ヲ出ナイト思ヒマス、之ニ關シマス  
ル日本内地ノ論議ハ少シク神經過敏デハナ  
イカト考ヘル次第デアリマス、禁止シテモ  
百件、獎勵シテモ二百件ト云フ程度ノモノ  
デゴザイマス

ソレカラモウ一つハ國語ノ普及ノ問題デ  
ゴザイマス、一面カラ申シマスルト此ノ時  
局ニ於キマシテ朝鮮民衆ハ國語ヲ解スルト  
解セザルトニ拘ラズ非常ナ熱誠ヲ以テ協力  
ヲ致シテ居リマス、寧ロ半言半語的デハア  
リマスルガ、國語ヲ解シ得ナイ朝鮮ノ農民  
其ノ他ノ民衆ガ、更ニ眞劍デアル、斯ウ云  
フ見方サヘアルノデアリマス、又國語ヲ一  
向知ラナイ朝鮮ノ老儒者連中ガ教育勅語ヲ  
漢文ニ譯シマシテ床ノ間ノヤウナ所ニ掛け  
マシテ朝鮮ノ言葉デ之ヲ日夜奉讀シテ經典  
以上ニ大切ニ奉戴シテ居ルト云フ例モ少  
クハナイノデアリマス、隨テ一部ニハ國語  
ヲ普及スレバ却テ朝鮮ノ人ハ統治シニクク  
ナルト云フ人ガアリマスケレドモ、併シ大  
筋ハ何ト言ツテモ、國語普及ト云フコトガ  
内鮮一體化ノ最モ大事ナ事柄ニ屬スルノテ  
アリマスガ、現在トテモ總督府ハ一生懸命  
努力ナサツテイラツシヤルト思ヒマスケ  
レドモ、國語普及ノ現段階ニ付テ御伺ヒ致

シタイト思ヒマス

○田中(武)政府委員 只今御尋ねノ第一ノ

創氏ノ問題デアリマスガ、實ハ此ノ制度ガ  
實施セラレマシテカラ後ニ色々ノ批判ガ行  
ハレマシタノデアリマスケレドモ、是ハ氏  
ヲ創設致シマス理由ヲ徹底セシメマスル手  
段方法ノ巧拙ニ付テ、アリマシテ、氏ノ制  
度ヲ設ケタコト自體ハモウ非常ニ朝鮮  
ニ於キマシテモ必要ナコトデアリマスルシ  
又中権院等ニ於キマシテモ從來朝鮮ニ於キ  
マシテ婚養子縁組ノ出來マスルヤウニ是非  
制度ヲ變ヘテ貴ヒタ云フ要求モアリマ  
シタヤウナ次第デアリマシテ、氏ノ創設自  
身ハ私共適當ナ施設デアル、又朝鮮人モ此  
ノ制度自身ニハ喜ンデ居ルト考ヘテ居リマ  
ス、唯氏ヲ變ヘル時ハ半年内届出デ變ヘサ  
ス、斯ウ云フコトニ制度ガナリマシタノ  
ヲ、其ノ半年内ニ出來ルダケ多クノ者ヲ  
變ヘサスト云フコトノ獎勵ガソコニ過ギタ  
ヤウナコトニ對スル批判ハ從來トモゴザイ  
マシタ、是等ノ點ニ付キマシテハ、世間ノ  
批判ガ全部間違ヒデアルトハ申シ難イノデ  
アリマシテ、中ニハ一寸行過ぎタヤノ事例  
モ聞クノデアリマス、既ニ今日ハモウ半年  
ノ日時ガ經過致シマシテ、變ヘル者ハ全部  
致シマシテ適當ナ制度ノ創設デアツタト私  
共モ考ヘテ居ルノデアリマス

第二ノ内鮮ノ難婚ノ問題デゴザイマスガ、  
是ハ御説ノ如ク、態度ガドウ云フ態度ヲ執  
リマシテモ、今日マヂ餘り件數ハ變ツテ居  
ラナイヤウニ私モサウ考ヘテ居リマス、只  
今ノ所特別ニ大騒ギシテ獎勵ヲシテ居ル

ト云フコトモヤツテ居リマセヌシ、サリト

テ無論ヤツテハイケナイト云フヤウナ消極的  
ノ態度ハ執ツテ居リマセヌノデ、謂ハバ

自然ノ推移ニ任せテ居ルト云フ程度デアリ  
マス、唯私共ハ此ノ問題ニ關聯ヲ致シマシ  
テ餘リニ偏狹ナ議論ガ、是ハ内鮮何レカラ  
デモアリマスルガ、兎角内地ニ於テ起リ易  
イノデアリマスガ、今日モウ朝鮮統治ノ目  
標ハハツキリト御示シニナツテ居リマスル  
シ、歷代ノ總督ノ諭告モ一視同仁ノ聖旨ヲ  
奉戴シテ諭告ガ出テ居リマスノデ、此ノ治  
鮮ノ根本方針ト云フモノハモウ搖ギナイモ  
ノデアリマスルカラ、斯ウ云フ問題等ニ關  
聯ヲ致シマシテ餘リニ料簡ノ狭イ偏狹ナ議  
論ガ行ハレマスコトハ、朝鮮ノ當局ト致シ  
マシテハ常ニ遺憾ニ考ヘテ居ルノデアリマ  
ス、出來ルダケ左様ナコトノナイヤウニ共  
共ニ努メテ行キタイ、斯ウ考ヘテ居リマス  
ソレカラ第三ノ國語普及ノ問題デアリマ  
スルガ、只今ノ所國語ヲ解スル者ハ全人口  
ノ約三割デアリマス、國語ノ普及ニ付キマ  
シテハ、徵兵制ノ實施ヲ致シマスニ付キマ  
シテモ、何ト申シマシテモヤハリ國語ヲ理  
解スルト云フコトガ先決ノ問題デアリマス、  
勞務者トシテ内地へ參リマシテ時々間違ヒ  
ガアリマスルノモ、大シタ對立意識ガアル  
ト云フヨリモ、國語ヲ解シマセヌ爲ニ一寸  
シタ間違ヒカラ争ヒガ起ルト云フヤウナコ  
トガ實際上多イノデアリマス、ソレ等ノ點  
カラ考ヘマシテモ、國語ノ普及ト云フコトニ  
ハ全力ヲ注イデ居リマシテ、徵兵ノ豫備訓  
練ト致シマシテノ青年特別鍛成ニ於キマシ  
テモ、先づ教練ト云フヤウナコトヨリモ國  
語ト云フモノニ非常ナ重點ヲ置キマシテ多  
クノ時數ヲ國語ノ教育ニ充テ、居ルヤウナ

次第デアリマス、是ハ將來トモ益、努メテ參

リタイ、斯様ニ考ヘテ居リマス

○金子(定)委員 長イ時間ヲ頂戴シテ質問  
致シマシテ有難ウゴザイマシタ、ドウカ朝  
鮮ノ人々ニ前途ニ明ルイ期待ヲ多ク持タセ  
ルヤウニ、又朝鮮ノ現段階ニ於ケル姿ガ深  
刻ニサウシテ早ク日本内地ニ能ク理解認識  
サレマスルヤウニ特別ノ努力ヲ要望シテ質  
問ヲ終リマス、特ニ日本内地ニ來テ居リマ  
ス朝鮮ノ人々ノ指導ニ付キマシテ尙ホヽ  
考究スペキ手段方法ガアルト考ヘマス、是  
レ以上ハ申上ダマセヌガ、幾重ニモ此ノ點  
ヲ御願ヒシマシテ質問ヲ終リマス

○谷原委員長 議事ノ都合ニ依リマシテ一  
寸休憩致シマス

午後二時十九分休憩

午後三時五分開議

○谷原委員長 休憩前ニ引續キ會議ヲ開キ  
マス、私カラ本案ノ立法手續ニ關シ政府ニ  
御尋ネ致シタイ點ガアリマスカラ、此ノ席  
カラ御尋ネ致シマス、朝鮮統治ノ關係カラ  
考ヘルト、出來ルダケ内地トノ差別待遇、  
差別關係ヲナクスル方ガ宜イト思ハレルノ  
デアリマス、所ガ此ノ法案ハ内地ニ於キマ  
シテハ、帝國議會ガ協賛ヲ與ヘマシタ他ノ法  
律ノ關係ニ依リマシテ、既ニ此ノ法案ノ成  
立ヲ俟ツマデモナク、國防保安法及ビ治安  
維持法ノ三十四條ト云フモノハ其ノ效力ガ  
排除セラレテ居ルノデアリマス、隨テ本案  
成立ヲ要求セラレル政府ノ意圖ハ、朝鮮ニ  
於テノミ效力ノアル國防保安法或ハ治安維  
持法ノ或ル條項ノ效力ヲ排除シヨウト云フ  
ノデアリマシテ、新タニ朝鮮ニ積極的ニ或  
ハ規範ヲ設ケル、統治上、斯様ナ新タナ法  
ニ施行ヲ要スルモノハ、勅令ヲ以テ之ヲ定ム  
ト云フコトニ相成ツテ居ルノデアル、法律  
ヲ制定致シマスル場合ニ、勅令ニ委任スル  
場合ハ屢々アリマスルガ、左様ナ場合ニ其ノ  
法律ノ委任ヲ受ケマスル勅令ト云フモノハ、  
出シタ切リ後デ改正ガ出來ナイカト言フト  
サウデハナイ、法律デ規定致シテ置クト其

律ヲ要スルト云フヤウナ關係ノナイ、極ク  
消極的ナモノデアリマスガ、左様ナ法律ノ  
成立ヲ態々要望シナケレバナラヌノデアル  
カ、何カ他ノ立法技術ノ運用ニ依ツテ其ノ

目的ガ達セラレルノデハナイカ、斯ウ云フ  
點ニ付テ疑問ガ起ルノデアリマス、恐ラク  
斯様ナ法案ノ成立ハ一ツノ帝國議會ノ審議  
ノ上ノ新例ニナルノデハナイカト思フノデ、  
カト思ヒマスノハ、内地デ效力ノアル法律  
ヲ勅令ヲ以テ朝鮮ニ其ノ效力ヲ及ボシテ居  
リマス場合ニ、其ノ内地ノ基本法律ガ排除  
サレ改正サレタ場合ニ於テハ當然朝鮮ニ於  
テモ其ノ影響ヲ受ケルト思フノデアリマス  
ガ、此ノ問題ノ國防保安法、治安維持法ハ、  
廢止若クハ改正ト云フ手續ハ經テ居リマセ  
ヌケレドモ、ヤハリ一ツノ法理原則ニ基イ  
テ現ニ戰時中ハ三十四條ハ、内地ニ於テハ  
カラ御尋ネ致シマス、朝鮮統治ノ關係カラ  
考ヘルト、出來ルダケ内地トノ差別待遇、  
ハ明治四十四年法律第三十號朝鮮ニ施行ス  
ベキ法令ニ關スル法律ニ依リマスト、朝鮮  
ノ立法事項ニ付キマシテハ全面的ニ勅令若  
クハ政令委任ノ法律ガ出來テ居ルノデアル  
第四條ニ依ルト「法律ノ全部又ハ一部ヲ朝鮮  
ニ施行ヲ要スルモノハ、勅令ヲ以テ之ヲ定ム」  
ト云フコトニ相成ツテ居ルノデアル、法律  
ヲ制定致シマスル場合ニ、勅令ニ委任スル  
場合ハ屢々アリマスルガ、左様ナ場合ニ其ノ  
法律ノ委任ヲ受ケマスル勅令ト云フモノハ、  
出シタ切リ後デ改正ガ出來ナイカト言フト  
サウデハナイ、法律デ規定致シテ置クト其

ノ改廢ガ又手數ガ掛ルカラ、勅令委任ニシテ置イテ時宜ニ應ジテ勅令改正ニ依ツテ運用シテ行カウト云フ意圖ノ下ニ勅令委任ニサウ云フ趣旨ガ含マレテ居ルノゾハナイカ、サウ致シマスルト、一部ヲ施行致シテ置イテ、又必要ガアルナラバ全部ヲ施行スルコトガ出來ルト共ニ、全部ヲ施行致シテ居ルガ、併シ都合上其ノ内ノ一部ヲ施行シナイコトニスル、サウ云フコトガ此ノ第四條ノ中ニ含マレテ居ルノデハナイカ、法律ノ委任ハ其處マデ行ツテ居ルノデハナイカ、法律ノ施行規則トカ、或ハ法律ノ一部ニ此ノデアルケレドモ、全部又ハ一部ヲ朝鮮ニ施行場合ニキマシテハ、其ノ法律ヲ改正シナケレバ勅令ヲ以テ動カスコトハ出來ナイノデアルケレドモ、全部又ハ一部ヲ朝鮮ニ施行スルヲ要スルヤ否ヤガ勅令ニ委任セラレ次ニ考ヘマスルコトハ、内地ニ於テ本法案ノ如キモノノ成立ヲ必要トシナイト言ヒガアル結果デアル、隨テ此ノ四十四年ノ法律第三十號ノ第四條ニ基キマシテ其ノ一部ヲ朝鮮ニ施行スル、即チアノ第四條ヲ朝鮮ニ施行スルト云フヤウナ勅令ニ依ツテ施行ナカドウカ、成程朝鮮ニハ裁判所構成法アルカラ、ソレヲ特ニ第四條ニ依ツテスルコトが出來ナイカドウカ

尙ホモウ一ツ伺ヒタイノハ、是非特別手續ヲ必要トスルヤウナ場合ノ已ムナキモノトスルナラバ、此ノ裁判所構成法戰時特例改正致シマシタ時ニ、國防保安法及ビ治安維持法三十四條ニ付テ、今提案セラレテ居リマスモト同ジ改正條文ヲアノ改正ノ中ニ附加ヘルコトガ出來ナカツタノデアルカドウカ、ア、云フヤウナモノニ左様ナ改正條文ヲ加ヘテ改正スルコトガ穩ヤカナ改正方法デナカツタカドウカ、斯ウ云フヤウナ相成リマシタ事項ハ中々難カシイ法律問題デアリマシテ、今御意見ヲ伺ツテ居ツテ少點ニ付テ御伺ヒ致シタイモノデアリマス○森山政府委員 只今委員長カラ御尋ネニ御注意ヲ願ツテ、其ノ上デ改メテ申上ゲテ尋ネニピツタリ合ハナイヤウナ御答ヘヲスルカモ分リマセヌガ、サウシマシタラ尙ホシ理解シ兼ネル點モアリマスノデ、或ハ御見タイト思フノデアリマス第一點ハ内地ノ方ノ法律ノ改正又ハ廢止ノ效果ガ朝鮮ニ對シテドウ云フ影響ヲ持ツカト云フコトガ疑問ノ點ニナルノデアリマス、即チノ法律ヲ朝鮮ニ施行シタ場合ニ、其ノ法律ガ改正トカ又ハ廢止ナレ、バドウ云フ效果ヲ朝鮮ニ付テ生ズルカト云フ點デアリマスガ、是ハ當然内地ノ改正又ハ廢止ノ效果ハ朝鮮ニモ及ブノデアリマス、從來サマスルノハ、裁判所構成法戰時特例第四條ガアル結果デアル、隨テ此ノ四十四年ノ法律第三十號ノ第四條ニ基キマシテ其ノ一部ヲ朝鮮ニ施行スル、即チアノ第四條ヲ朝鮮ニ施行スルト云フヤウナ法律ノ一部ニ此ノ第二ノ疑問ノ點デアリマス、明テノ所見デアリマス

解釋ヲ取ツタ場合ニ、具體的ノ今度ノ問題ニ其ノ理窟ヲ應用スレバ、何カ便宜ナ措置ニ出ツルコトガ出來ヌカト云フヨトニナルトスルナラバ、此ノ裁判所構成法戰時特例改正致シマシタ時ニ、國防保安法及ビ治安維持法三十四條ニ付テ、今提案セラレテ居リマスモト同ジ改正條文ヲアノ改正ノ中ニ附加ヘルコトガ出來ナカツタノデアルカドウカ、ア、云フヤウナモノニ左様ナ改正條文ヲ加ヘテ改正スルコトガ穩ヤカナ改正方法デナカツタカドウカ、斯ウ云フヤウナ相成リマシタ事項ハ中々難カシイ法律問題デアリマシテ、今御意見ヲ伺ツテ居ツテ少點ニ付テ御伺ヒ致シタイモノデアリマス○森山政府委員 只今委員長カラ御尋ネニ御注意ヲ願ツテ、其ノ上デ改メテ申上ゲテ尋ネニピツタリ合ハナイヤウナ御答ヘヲスルカモ分リマセヌガ、サウシマシタラ尙ホシ理解シ兼ネル點モアリマスノデ、或ハ御見タイト思フノデアリマス第一點ハ内地ノ方ノ法律ノ改正又ハ廢止ノ效果ガ朝鮮ニ對シテドウ云フ影響ヲ持ツカト云フコトガ疑問ノ點ニナルノデアリマス、即チノ法律ヲ朝鮮ニ施行シタ場合ニ、其ノ法律ガ改正トカ又ハ廢止ナレ、バドウ云フ效果ヲ朝鮮ニ付テ生ズルカト云フ點デアリマスガ、是ハ當然内地ノ改正又ハ廢止ノ效果ハ朝鮮ニモ及ブノデアリマス、從來サマスルノハ、裁判所構成法戰時特例第四條ガアル結果デアル、隨テ此ノ四十四年ノ法律第三十號ノ第四條ニ基キマシテ其ノ一部ヲ朝鮮ニ施行スル、即チアノ第四條ヲ朝鮮ニ施行スルト云フヤウナ法律ノ一部ニ此ノ第二ノ疑問ノ點デアリマス、明テノ所見デアリマス

税法ノ效果ヲ——是ハ臺灣等ノ關係モアツタノデアリマスガ、朝鮮ニ關係シテナクシテ法律第三十號第四條ノヤウナ規定ノ擴張解釋ニ依ツテ、朝鮮ニ施行ヲ要スルモノトアルシマヒタイト云フ場合ニ、或ハ明治四十四年、ノデアリマスガ、ソレハサウ云フ風ニ參ラスノデアリマス、國防保安法及ビ治安維持法ニ付テ、其ノニツノ法律ヲ或ハ改正スル等ノ措置ヲ執レバ、ソレハ當然朝鮮ニモ其ノ效果ヲ及ボスノデアリマスガ、今度ノ裁判所構成法戰時特例ノ關係ニ於キマシテハ、方法デナカツタカドウカ、斯ウ云フヤウナ相成リマシタ事項ハ中々難カシイ法律問題デアリマシテ、今御意見ヲ伺ツテ居ツテ少點ニ付テ御伺ヒ致シタイモノデアリマス○森山政府委員 只今委員長カラ御尋ネニ御注意ヲ願ツテ、其ノ上デ改メテ申上ゲテ尋ネニピツタリ合ハナイヤウナ御答ヘヲスルカモ分リマセヌガ、サウシマシタラ尙ホシ理解シ兼ネル點モアリマスノデ、或ハ御見タイト思フノデアリマス第一點ハ内地ノ方ノ法律ノ改正又ハ廢止ノ效果ガ朝鮮ニ對シテドウ云フ影響ヲ持ツカト云フコトガ疑問ノ點ニナルノデアリマス、即チノ法律ヲ朝鮮ニ施行シタ場合ニ、其ノ法律ガ改正トカ又ハ廢止ナレ、バドウ云フ效果ヲ朝鮮ニ付テ生ズルカト云フ點デアリマスガ、是ハ當然内地ノ改正又ハ廢止ノ效果ハ朝鮮ニモ及ブノデアリマス、從來サマスルノハ、裁判所構成法戰時特例第四條ガアル結果デアル、隨テ此ノ四十四年ノ法律第三十號ノ第四條ニ基キマシテ其ノ一部ヲ朝鮮ニ施行スル、即チアノ第四條ヲ朝鮮ニ施行スルト云フヤウナ法律ノ一部ニ此ノ第二ノ疑問ノ點デアリマス、明テノ所見デアリマス

解釋ヲ取ツタ場合ニ、具體的ノ今度ノ問題ニ其ノ理窟ヲ應用スレバ、何カ便宜ナ措置ニ出ツルコトガ出來ヌカト云フヨトニナルトスルナラバ、此ノ裁判所構成法戰時特例改正致シマシタ時ニ、國防保安法及ビ治安維持法三十四條ニ付テ、今提案セラレテ居リマスモト同ジ改正條文ヲアノ改正ノ中ニ附加ヘルコトガ出來ナカツタノデアルカドウカ、ア、云フヤウナモノニ左様ナ改正條文ヲ加ヘテ改正スルコトガ穩ヤカナ改正方法デナカツタカドウカ、斯ウ云フヤウナ相成リマシタ事項ハ中々難カシイ法律問題デアリマシテ、今御意見ヲ伺ツテ居ツテ少點ニ付テ御伺ヒ致シタイモノデアリマス○森山政府委員 只今委員長カラ御尋ネニ御注意ヲ願ツテ、其ノ上デ改メテ申上ゲテ尋ネニピツタリ合ハナイヤウナ御答ヘヲスルカモ分リマセヌガ、サウシマシタラ専ホシ理解シ兼ネル點モアリマスノデ、或ハ御見タイト思フノデアリマス第一點ハ内地ノ方ノ法律ノ改正又ハ廢止ノ效果ガ朝鮮ニ對シテドウ云フ影響ヲ持ツカト云フコトガ疑問ノ點ニナルノデアリマス、即チノ法律ヲ朝鮮ニ施行シタ場合ニ、其ノ法律ガ改正トカ又ハ廢止ナレ、バドウ云フ效果ヲ朝鮮ニ付テ生ズルカト云フ點デアリマスガ、是ハ當然内地ノ改正又ハ廢止ノ效果ハ朝鮮ニモ及ブノデアリマス、從來サマスルノハ、裁判所構成法戰時特例第四條ガアル結果デアル、隨テ此ノ四十四年ノ法律第三十號ノ第四條ニ基キマシテ其ノ一部ヲ朝鮮ニ施行スル、即チアノ第四條ヲ朝鮮ニ施行スルト云フヤウナ法律ノ一部ニ此ノ第二ノ疑問ノ點デアリマス、明テノ所見デアリマス

税法ノ效果ヲ——是ハ臺灣等ノ關係モアツタノデアリマスガ、朝鮮ニ關係シテナクシテ法律第三十號第四條ノヤウナ規定ノ擴張解釋ニ依ツテ、朝鮮ニ施行ヲ要スルモノトアルシマヒタイト云フ場合ニ、或ハ明治四十四年、ノデアリマスガ、ソレハサウ云フ風ニ參ラスノデアリマス、國防保安法及ビ治安維持法ニ付テ、其ノニツノ法律ヲ或ハ改正スル等ノ措置ヲ執レバ、ソレカラ次ニ裁判所構成法戰時特例ノ第四條ト云フ規定ヲ朝鮮ニ施行スルコトニ依ツテ今回新シイ法律ニ依ツテ企圖シタコトガアルノデアリマスガ、稅制ノ改正例ガ生ジテ居ルノデアリマス

解釋シテ居ルノデアリマス、是ハ前ニ先例ガスルノガ宜シイノデハナイカ、斯ウ云フ風ニ考へテ、其ノ考へガ主トナツテ立法ノ先例ガ生ジテ居ルノデアリマス

ソレカラ次ニ裁判所構成法戰時特例ノ中、第四條ト云フ規定ヲ朝鮮ニ施行スルコトニ依ツテ今回新シイ法律ニ依ツテ企圖シタコトガアルノデアリマス、サウ云フ風ナニ伴ヒマシテ、其ノ施行シテ居ル所ノ所得

テ居ル所ノ效果ガ發生シ得ナイカト云フ御御

疑問デアリマスガ、是ハ私餘リ詳シクマダ  
研究シナイノデ能クハ分リマセヌガ、此ノ  
點ハ、或ハソレヲ施行スレバ何カサウ云フ風  
ナ效果ヲ生ズルノデハナイカト思フノデア  
リマス、併シサウナリマスト立法ノ體裁ガ  
色々複雜ナモノニナリマシテ、ヤハリ立法  
ノ體裁ノ上ニ於テハ朝鮮ニ關スル限りハ、  
此ノ一審、二審、三審等ノ關係ハ全部制令  
ノ方法ニ依ツテ措置スルコトガ宜シト云  
フ風ナ見解デ、今度ノ措置ヲ執ラウトシタ  
次第デアリマス、併シ今私ハ四條ノ規定ヲ  
施行シタラサウ云フ效果ガ生ズルカドウカ  
ト云フコトヲ深ク研究シテ居マセヌカラ、  
唯委員長ノ御話ヲ承ツテノ私ノ只今ノ判断  
ニ依ツテ申上ゲテ居ルノデ或ハ誤リガアル  
カモ分リマセヌガ、此ノ方法ハ或ハ成立ツ  
ノデハナイカト思フノデアリマス  
次ニ第四番目ノ御疑惑デアリマスガ、是  
ハ極メテ御尤モナ御疑問デアルト思ヒマス、  
何故ニ裁判所構成法戰時特例ノ措置ヲ執ル  
時ニ豫メ朝鮮ニ付テモサウ云フ風ナコトヲ  
考慮シテ置カナカツタコト云フコトニナル  
ノデアリマス、裁判所構成法戰時特例ノ或  
ハ附則等ヘ持ツテ行ツテ特ニサウ云フ風ナ  
措置ヲ考へテ、其ノ規定ハ朝鮮ニ施行スル  
コトヲ目的トシタ法律デアルト云フコトニ  
致シマシテ、措置スレバ宜カツタモ思フ  
ノデアリマス、當時ハ尙ホ朝鮮ニ内地ト同  
ジヤウナ措置ヲ執ルカドウカト云フ問題ガ  
起ツテ遅レバセナガラ今回ノヤウナ措置ヲ  
執ラウト云フコトニナツタ次第デアリマス  
テ、委員長ノ御話ノ第三、第四、御疑問、

此ノ方法ハ或ハ今回ノヤウナ一寸シタコト  
ニ付テ、特別ノ法律案ニ付テ特ニ議會ノ協  
賛ヲ仰グト云フヤウナ煩瑣ナ手續ヲ避ケル  
良イ方法デアツタノデハアルマイカト云フ  
ヤウナ氣ガスルノデアリマス、今日ニナツ  
テ見マスト色々考ヘサセラレル點ガアルノ  
デアリマスガ、事茲ニ至ツテハモウ此ノ方  
法ヨリ外ニハナイデハナイカト考ヘテ居ル  
ノデアリマス、委員長ガ特ニ色々ナ方面カ  
ラ立法技術ノ點ニ付テ非常ニ示唆ニ富シング  
ヤウニナルカモ分リマセヌノデ、十分我々  
ノ將來ノ仕事ノ上ノ参考ニ致シタイト思ツ  
テ居リマス、第一、第一ノ點ニ付テノ解釋  
ハ政府トシテハツキリシタ解釋デアリマシ  
テ、是ハ今日ノ場合一寸動カスコトノ出來  
ナイ解釋グト御諒承置キヲ願ヒタイノデア  
リマス

○谷原委員長 最早質疑ハ盡キタト思ヒマ  
スルガ、之ヲ以テ質疑ヲ終ルコトニ御異議  
ハゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼ブ者アリ〕  
○谷原委員長 ソレデハ質疑ハ終了致シマ  
シタ、討論及び採決ハ次會ニ致シタイト思  
ヒマス、本日ハ是ニテ散會致シマス

午後三時二十七分散會

昭和十九年二月一日印刷

昭和十九年二月一日發行

衆議院事務局

印刷者 印刷局